

久留米市三潞町遺跡等詳細分布調査報告書

久留米市文化財調査報告書第217集

2 0 0 6

久留米市教育委員会

序

この度、平成15年度・16年度の2ヵ年にて実施した、三潁町の町内遺跡分布調査が完了し、『久留米市三潁町遺跡等詳細分布調査報告書』として本書を発刊するはこびとなりました。

平成17年2月5日に1市4町の合併により久留米市となった三潁町は、古代より「水沼君」の地として『日本書紀』に登場するなど、郷土の歴史を語る多くの遺跡が存在している可能性を秘めています。しかしながら、三潁町で脈々と受け継がれてきた人々の営みは、現在の集落地と多くが重なります。そのためその様子のほとんどがまだ解明されておらず、地中に眠っていると考えられています。近年において、久留米・福岡都市圏のベッドタウンとして宅地化傾向が進むにしたがって、序々にはあるものの、発掘調査も実施され、町の歴史の一部がようやく姿を見せ始めました。それに伴い、住民の郷土史への関心が高まる一方、押し寄せる開発の波に押され、行政としての文化財保護と各種開発事業との調整の円滑化が急務ともされてきました。

そのような中、今回の調査によって、現在までに知られていない歴史遺産を再調査し、周知の埋蔵文化財包蔵地として遺跡・史跡地を確認することが出来ました。今回収集したデータを整理し、調査結果を掲載した本書が、今後の文化財保護行政へのご理解と普及の一端となれば幸いです。

最後になりましたが、現地踏査に対して多大なご理解とご協力を頂きました市民の皆様、地権者の皆様、並びに関係各位に対し、厚くお礼申し上げます。

平成18年3月31日

久留米市教育委員会
教育長 石川 集 充

例 言

1. 本書は、平成15年度・16年度に三瀧町教育委員会、平成17年度に久留米市が国・県の補助を受けて実施した久留米市三瀧町遺跡等詳細分布調査の調査報告書であり、昭和57年発行の『福岡県遺跡分布地図（大川市・筑後市・三瀧郡編）』（以下、「県分布地図」という）のうち、三瀧町分の増補、改訂版である。
2. 分布調査は三瀧町教育委員会が主体となり、三瀧町教育委員会社会教育課（現・久留米市文化観光部文化財保護課）塚本映子が担当した。調査方法は町内の田畑の踏査にて実施した。
3. 本書掲載実測図は、畠中和子、香椎佳子、米澤美詠子、原田志保、猿渡式子が担当した。
4. 本書掲載の写真撮影は園井正隆が行った。
5. 本書の執筆・編集は塚本が行った。
6. 本書に関する実測図及び写真・遺物等の記録は久留米市にて保管している。

凡 例

1. 本書に使用した地図は三瀧町役場（現・久留米市役所）が作成した地形図（1/25,000・1/5,000）である。
2. 遺跡の時代区分は福岡県文化財カードに基づき下記のとおりとする。
旧石器・縄文・弥生・古墳・飛鳥・奈良・平安・鎌倉・室町・戦国・安土桃山・江戸・明治・大正・昭和前・昭和後・平成・不明
ただし、時代区分が明確でないものについてはおおまかに、古代（旧石器～平安）・中世（鎌倉～戦国）・近世（安土桃山～江戸）・現代（明治～平成）とした。
3. 分布地図の記号は福岡県遺跡分布地図に基づき下記のとおりとする。
● 古墳 ○ 消滅古墳 ○ 散布地等
凸 城跡 卍 神社 × その他（天然記念物等）
4. 本書は平成18年3月31日現在で作成している。調査方法も踏査による確認であり、今後の調査等により範囲の変更及び新発見の遺跡の追加等が考えられる。
5. 分布地図中に記掲している遺跡の範囲は、旧字図を基に作成した。

本文目次

I. はじめに	1
1. 調査経過	1
2. 調査体制	1
II. 調査の内容	
1. 三浦町遺跡等一覧表	4
2. 分布地図	10
3. 採集遺物	34

図版目次

Fig. 1 三浦町管内図 (1/25,000)	3	Fig. 19 遺跡等分布地図18 (1/5,000)	27
Fig. 2 遺跡等分布地図1 (1/5,000)	10	Fig. 20 遺跡等分布地図19 (1/5,000)	28
Fig. 3 遺跡等分布地図2 (1/5,000)	11	Fig. 21 遺跡等分布地図20 (1/5,000)	29
Fig. 4 遺跡等分布地図3 (1/5,000)	12	Fig. 22 遺跡等分布地図21 (1/5,000)	30
Fig. 5 遺跡等分布地図4 (1/5,000)	13	Fig. 23 遺跡等分布地図22 (1/5,000)	31
Fig. 6 遺跡等分布地図5 (1/5,000)	14	Fig. 24 遺跡等分布地図23 (1/5,000)	32
Fig. 7 遺跡等分布地図6 (1/5,000)	15	Fig. 25 遺跡等分布地図24 (1/5,000)	33
Fig. 8 遺跡等分布地図7 (1/5,000)	16	Fig. 26 採集遺物実測図 (1/40)	42
Fig. 9 遺跡等分布地図8 (1/5,000)	17	Fig. 27 採集遺物実測図 (1/40)	43
Fig. 10 遺跡等分布地図9 (1/5,000)	18	Fig. 28 採集遺物実測図 (1/40)	44
Fig. 11 遺跡等分布地図10 (1/5,000)	19	Fig. 29 採集遺物実測図 (1/40)	45
Fig. 12 遺跡等分布地図11 (1/5,000)	20	Fig. 30 採集遺物実測図 (1/40)	46
Fig. 13 遺跡等分布地図12 (1/5,000)	21	Fig. 31 採集遺物実測図 (1/40)	47
Fig. 14 遺跡等分布地図13 (1/5,000)	22		
Fig. 15 遺跡等分布地図14 (1/5,000)	23	PL 1 採集遺物写真1	
Fig. 16 遺跡等分布地図15 (1/5,000)	24	PL 2 採集遺物写真2	
Fig. 17 遺跡等分布地図16 (1/5,000)	25	PL 3 採集遺物写真3	
Fig. 18 遺跡等分布地図17 (1/5,000)	26		

I. は じ め に

1. 調査経過

遺跡詳細分布調査は平成15年度と16年度の2か年にわたって町内踏査を実施し、平成17年度に詳細遺跡分布地図作成として実施した国庫補助事業である。町内を北部地区と南部地区に分け、平成15年度に北部地区を、平成16年度に南部地区を対象区とし、その結果、散布地を主として154箇所の遺跡等を発見・再確認した。上記記述のとおり発見・再確認は全て現地踏査による。

2. 調査体制

各年度の調査体制は以下のとおりである。

〔平成15年度〕

調査主体：三浦町教育委員会	教育長 富松孝祐
調査総括：社会教育課	課 長 稲益正明
	係 長 江嶋包幸
	文化財担当 塚本映子

（調査作業員）

田島好江 田島ヤス子 森光真弓

〔平成16年度・合併前（H16.4.1～H17.2.4）〕

調査主体：三浦町教育委員会	教育長 富松孝祐（～H17.1.30）
調査総括：社会教育課	課 長 稲益正明
	係 長 井寺早恵子
	文化財担当 塚本映子

（調査作業員）

田島好江 田島ヤス子 森光真弓 古賀美恵子 加藤礼子

（整理作業員）

猿渡式子

〔平成16年度・合併後（H17.2.5～H17.3.31）〕

調査主体：久留米市教育委員会	教育長 石川集充
調査総括：教育文化部	部 長 石原廣土
文化財保護課	課 長 関 知彦
	課長補佐 堤 諭古
	主 査 立石雅文
	庶務担当 権藤節子
	調査担当 塚本映子

〔平成17年度〕

調査主体：久留米市教育委員会	教育長 石川集充
調査総括：文化観光部	部 長 緒方眞一
文化財保護課	課 長 関 知彦
	課長補佐 立石雅文（課主査兼務）
	庶務担当 権藤節子
	調査担当 塚本映子

なお、調査から整理に際し、南筑後教育事務所生涯学習室文化財担当職員をはじめとして、南筑後文化財行政担当職員諸氏のご指導・ご助力を賜った。また、地元住民の方々には所有地への立入や情報の提供等、多大なるご協力を得ることが出来た。書面をお借りして末文ながら謝辞を表します。

三 瀧 町 全 図



Fig. 1 三瀧町管内図 (1/25,000)

Ⅱ. 調 査 の 内 容

1. 三瀧町遺跡等一覧表

地図番号	県番号	名 称	種 別	所 在 地	時 代	遺 跡 の 概 要	備 考
1	68001	石 仏 八 体 (川端観音堂)	石仏	三瀧町草場字川端	安土・桃山時代	観音堂境内にある。永禄10年(1567)銘	
2	68003	草 場 遺 跡	散布地	三瀧町草場字芹田	安土・桃山時代		
3	68002	弥陀三尊供養塔	石塔	三瀧町草場字時里	安土・桃山時代	自然石。本田の畔に立つ。僅かに正面と左中ほどに梵字が見える	
4		文 明 の 板 碑	板碑	三瀧町草場字弥太郎	室町時代	草場天満宮境内にある。文明18年丙午(1468)銘	
5		光 泉 寺 跡	古寺	三瀧町草場字沖島	江戸時代		
6		原 田 西 屋 敷	集落	三瀧町原田字西屋敷	中世		
7		原 田 北 屋 敷	集落	三瀧町原田字北屋敷	中世		
8		高 三 瀧 遺 跡 群	集落	三瀧町高三瀧	弥生時代～		
9	680024	御 廟 塚 貝 塚	集落	三瀧町高三瀧字塚崎西畑	弥生時代	牡蠣殻、貝類、弥生式土器、石器等	
10		高三瀧大津添遺跡	散布地	三瀧町高三瀧字大津添	中世		
11		高三瀧横枕遺跡	散布地	三瀧町高三瀧字横枕	中世		
12		原 田 久 保 田 遺 跡	散布地	三瀧町原田字久保田	中世		
13		原 田 定 覚 遺 跡	散布地	三瀧町原田字定覚	中世		
14		高三瀧当弥町遺跡	散布地	三瀧町高三瀧字当弥町	中世		
15		高三瀧角竹遺跡	散布地	三瀧町高三瀧字角竹	中世		
16		高三瀧天神田遺跡	散布地	三瀧町高三瀧字天神田	中世		
17		高三瀧長坪遺跡	散布地	三瀧町高三瀧字長坪	中世		
18		高三瀧一丁田遺跡	散布地	三瀧町高三瀧字一丁田	中世		
19	680025	御 廟 塚 古 墳	円墳	三瀧町高三瀧字塚崎西畑	弥生時代	現存高約1m。「筑後博士軍談」に「寛延二年、一塚を発掘して石槨上より銅剣二口…」とある	
20	680026	北 小 路 貝 塚	集落	三瀧町高三瀧字塚崎東畑	弥生時代	牡蠣等貝殻類、弥生式土器、石器等	
21	680028	法 塔 相 輪	石塔	三瀧町高三瀧字塚崎東畑	安土・桃山時代	2基分	
22	680023	富 松 どん の 墓	古墓	三瀧町高三瀧字庄生	鎌倉時代	自然石の墓碑2基。明暦3年(1657)丁酉銘。正保2年(1645)乙酉銘	
23	680029	烏 棚 子 塚	集落	三瀧町高三瀧字塚崎東畑	弥生時代	弥生式土器、石器。隣接地からは銅剣2口出土	
24		も つ き 塚	散布地	三瀧町高三瀧字北小路	弥生時代		
25		一 里 塚 跡	一里塚	三瀧町高三瀧字北田	江戸時代	大正中頃までは小さな盛土の塚が残っていた	
26	680027	五 輪 塔	石塔	三瀧町高三瀧字塚崎東畑	江戸時代		
27	680030	古 賀 遺 跡	散布地	三瀧町高三瀧字古賀	弥生～古墳時代		
28		横 溝 氏 館 跡	館跡	三瀧町高三瀧字池田	鎌倉時代	地頭職・横溝五郎一族	
29		高三瀧六反田古墳	円墳	三瀧町高三瀧字六反田	古墳時代	消滅	
30		田 中 観 音	石仏	三瀧町高三瀧字八龍	江戸時代	田中古政の家臣、田中兵庫頭の家敷跡との伝承。観音堂内に十一面観音が安置	

地図番号	県番号	名 称	種 別	所 在 地	時 代	遺 跡 の 概 要	備 考
31		高 三 藩 館 跡	館跡	三藩町高三藩字館	戦国時代	「筑後領主附」に「高三藩式部少輔、高三藩ニ居リ」との記述あり	
32	680031	三藩小学校校庭遺跡	集落	三藩町高三藩字北松林	弥生時代	弥生式土器、石器	
33	680033	高 三 藩 古 墳	円墳	三藩町高三藩字大坪	古墳時代	消滅	
34	680032	五十町さん古墳	円墳	三藩町高三藩字五十町	古墳時代	消滅。部材は現在、高三藩弓頭神社前の記念碑に転用	
35		高三藩三井寺遺跡	散布地	三藩町高三藩字三井寺	中世		
36		玉満一丁田遺跡	散布地	三藩町玉満字一丁田	中世		
37		玉満向エ野遺跡	円墳	三藩町玉満字向エ野	古墳時代	向エ野古墳群一号・二号は消滅	
38	680013	弥陀三尊尊字板碑	板碑	三藩町玉満字向エ野	安土・桃山時代	53×35×15cmの自然石を用いる	
39	680015	犬塚城跡	城跡	三藩町玉満字原口	宝町時代	伝仁の乱頃、探題赤川氏が築城	
40	680014	犬塚城跡 堀跡	城跡	三藩町玉満字明房	宝町時代	犬塚城の内堀、巾7m・深さ約2m・長さ約100mが現存する	
41		原 口 一 号 墳	円墳	三藩町玉満字原口	古墳時代	消滅	
42		原 口 二 号 墳	円墳	三藩町玉満字原口	古墳時代	消滅	
43		馬 場 古 墳	円墳	三藩町玉満字馬場	古墳時代	消滅	
44		早 津 崎 遺 跡	散布地	三藩町早津崎	弥生時代～		
45		高三藩南天神田遺跡	散布地	三藩町高三藩字天神田	弥生時代～		
46		小犬塚犬の宮古墳	円墳	三藩町玉満字道端ノ二	古墳時代	消滅	
47		早津崎池尻遺跡	散布地	三藩町早津崎字池尻	弥生時代～		
48		早津崎松の下遺跡	散布地	三藩町早津崎字松の下	弥生時代～		
49		薬 師 板 碑	板碑	三藩町早津崎字吹上	江戸時代	「寛延記」に記述あり	
50		吹 上 古 墳	円墳	三藩町早津崎字吹上	古墳時代	石棺石材一部現地に存	
51		早津崎五反田遺跡	散布地	三藩町早津崎字五反田	弥生時代～		
52		早津崎吹上遺跡	散布地	三藩町早津崎字吹上	弥生・古墳時代		
53	680047	田川北島北の切遺跡 (原台帳・早津崎遺跡)	散布地	三藩町田川字北島北の切	弥生時代		
54		田川北島南の切遺跡	散布地	三藩町田川字北島南の切	弥生時代～		
55	680039	田 川 城 跡	城跡	三藩町田川字北島南の切	江戸時代	伝・田川長門守の居城	
56	680037	田 川 村 園 遺 跡	散布地	三藩町田川字村園	弥生時代		
57	680036	村 園 石 塔 群	石塔	三藩町田川字村園	戦国時代	五輪塔4・法園印塔2・板碑1	
58		山 伏 塚	円墳	三藩町田川字村園ノ二	古墳時代	消滅?畑内地中に石材あり	
59		正 徳 の 板 碑	板碑	三藩町田川字村園ノ二	江戸時代	自然石。板石に「正徳二年(1712)五月十日 釈尼知鑑」	
60		薬 師 堂	石仏	三藩町田川字村園ノ一	江戸時代	伝・長徳寺の鐘楼跡。享和三年一月と刻まれた石造手洗鉢あり	

地図番号	県番号	名 称	種 別	所 在 地	時 代	遺 跡 の 概 要	備 考
61		小 天 塚 の 一 里 塚	一里塚	三郷町玉満字道端	江戸時代		
62	680061	田 川 中 原 道 跡	散布地	三郷町田川字中原	弥生～中世	土壌・溝・不明遺・ビット	
63	680037	田川井樋の口道跡	散布地	三郷町田川井樋の口	弥生時代		
64	680035	道 化 坊 さ ん	石像	三郷町田川字村園の二	古墳～江戸	坐像	
65	680034	地 蔵 板 碑	板碑	三郷町田川字村園の一	江戸時代	遊行地蔵、線刻	
66		田 川 古 賀 道 跡	散布地	三郷町田川字古賀	中世		
67	680046	木 の 下 道 跡	散布地	三郷町早津崎字木の下	鎌倉時代		
68		早津崎松木島道跡	散布地	三郷町早津崎字松木島	弥生～中世		
69		早津崎栗ノ内道跡	散布地	三郷町早津崎字栗ノ内	弥生～中世		
70		早津崎野町道跡	散布地	三郷町早津崎字野町	弥生～中世		
71		早津崎北ノ山道跡	散布地	三郷町早津崎字北ノ山	弥生～中世		
72	680038	熊引又右衛門親重太零位	石像	三郷町田川字五俣南の切	江戸時代	共同納骨堂境内。寛文5年(1666) 銘	
73		五 俣 堰	堰	三郷町田川字五俣南の切	江戸時代		
74	680068	田 川 大 野 道 跡	集落	三郷町田川大野	中世	溝・土壌・ビット	
75	680004	北清松八幡宮肥前貳大	神社	三郷町清松字杉ノ本	江戸時代	境内内	
76		北清松北ノ屋敷道跡	散布地	三郷町清松字北ノ屋敷	室町時代		
77		北清松寺屋敷道跡	集落	三郷町清松字寺屋敷	江戸時代		
78	680005	六地藏供養塔棹板	棹板	三郷町清松字寺屋敷	安土・桃山時代	他に法園印塔笠石がある	
79	680006	金剛五仏梵字板碑	板碑	三郷町清松字寺屋敷	安土・桃山時代	観音堂境内にある	
80	680007	南 田 堰	円墳	三郷町清松字南田	古墳時代	削平が進んでおり、現在では形態不明	
81	680009	法 園 印 塔 相 輪	石塔	三郷町清松字身代	安土・桃山時代		
82	680008	法 園 印 塔	石塔	三郷町清松字南田	安土・桃山時代	観音堂境内にある	
83		南 清 松 身 代 道 跡	集落	三郷町清松字身代	戦国時代		
84		南清松シャカマ道跡	散布地	三郷町清松字シャカマ	戦国時代		
85		南清松南屋敷道跡	集落	三郷町清松字南屋敷	戦国時代		
86		高三郷久美木道跡	散布地	三郷町高三郷字久美木	中世		
87		高三郷中多恵道跡	散布地	三郷町高三郷字中多恵	中世		
88		高 三 郷 取 島 道 跡	散布地	三郷町高三郷字取島	中世		
89		壱町原馬喰野道跡	散布地	三郷町壱町原字馬喰野	中世		
90		壱町原間敷道跡	散布地	三郷町壱町原字間敷	中世		

地図番号	県番号	名 称	種 別	所 在 地	時 代	遺 跡 の 概 要	備 考
91		高 三 藩 野 口 道 跡	散布地	三藩町高三藩字野口	中世		
92		原 田 屋 敷 道 跡	散布地	三藩町志町原字原田屋敷	江戸時代		
93		志町原内池田道跡	散布地	三藩町志町原字内池田	中世		
94		志町原西野中道跡	散布地	三藩町志町原字西野中	中世		
95	680049	志 町 原 道 跡	散布地	三藩町志町原	弥生時代		
96		志町原西屋敷道跡	集落	三藩町志町原字西屋敷	江戸時代		
97		北 村 庄 衛 門 墓 碑	古墓	三藩町志町原字西屋敷	江戸時代	没年、延宝5(1677)丁巳年	
98		志町原栗ノ内道跡	散布地	三藩町志町原字栗ノ内	中世		
99		志町原菅原道跡	散布地	三藩町志町原字菅原	中世		
100	680010	福光天満宮肥前島居	神社	三藩町志町原字山添	安土・桃山時代	貞享4年(1688)第1回補修	
101	680012	六 左 衛 門 塚 (伝白仁弾正の墓)	古墓	三藩町志町原字馬喰野	安土・桃山時代	伝・白仁弾正の臣	
102		六 左 衛 門 塚 跡	古墓	三藩町福光字馬喰野	江戸時代	消滅	
103		裏 畑 古 墳	円墳	三藩町玉満字裏畑	古墳時代	円墳か?南側に石棺の一部露出	
104		玉 満 裏 畑 道 跡	集落	三藩町玉満字裏畑	弥生・古墳時代		
105		玉 満 用 産 池 道 跡	散布地	三藩町玉満字用産池	弥生時代~中世		
106		玉 満 園 畑 古 墳	円 墳	三藩町玉満字園畑	古墳時代	消滅	
107		高 三 藩 島 添 道 跡	散布地	三藩町高三藩字島添	中世		
108		新茶屋三本松道跡	散布地	三藩町玉満字三本松	中世		
109	680020	玉 満 上 町 道 跡	散布地	三藩町玉満字上町	弥生時代		
110		比 丘 尼 塚	円 墳	三藩町玉満字足洗ノ二	弥生・古墳時代	消滅	
111		大 犬 塚 町 口 道 跡	散布地	三藩町玉満字野口	弥生時代		
112		道 手 牟 田 道 跡	墓 地	三藩町玉満字道手牟田	江戸時代	落とし穴・墓域	
113		玉 満 山 の 内	散布地	三藩町玉満字山の内	中世		
114	680021	北 原 道 跡	散布地	三藩町玉満字北原	弥生時代		
115		玉満松木ソノ道跡	集 落	三藩町玉満字松木ソノ	弥生・古墳時代	溝・竪穴式住居・掘立柱建物・周溝状遺構・ビット	
116		大犬塚犬の宮道跡	散布地	三藩町玉満字宮の前	弥生時代		
117	680016	大犬塚犬の宮古墳	円 墳	三藩町玉満字宮の前	弥生・古墳時代	墳丘部消滅	
118		古 武 助 左 衛 門 墓	古 墓	三藩町田川字南牧	江戸時代	自然石	
119		西 牟 田 黒 島 道 跡	散布地	三藩町西牟田字黒島			
120	680044	田 川 長 門 守 墓	古 墓	三藩町西牟田字菅原	安土・桃山時代	伝・天正元年(1573)討死	

地図番号	県番号	名 称	種 別	所 在 地	時 代	遺 跡 の 概 要	備 考
121		西 牟 田 石 原 遺 跡	散布地	三郷町西牟田字石原			
122		西牟田清導寺浦遺跡	集 落	三郷町西牟田字清導寺浦	弥生時代	竪穴式住居・落とし穴・ビット・塚	
123	680041	十 進 寺 古 墳	円 墳	三郷町西牟田字十進寺	古墳時代	一部欠損。円墳か。墳頂部に宮地嶽神社	
124		西 牟 田 清 導 寺	散布地	三郷町西牟田字清導寺	弥生～		
125		十 進 寺 六 地 蔵	石 塔	三郷町西牟田字十進寺	江戸時代	平石に享保16(1731)辛亥年銘	
126	680067	西 牟 田 嶋 野 遺 跡	集 落	三郷町西牟田字嶋野	中世	溝・土塙	
127		川 原 伝 左 衛 門 墓	古 墓	三郷町西牟田字平野	江戸時代		
128		西 牟 田 平 野 遺 跡	集 落	三郷町西牟田字平野	江戸時代	溝・偏立柱建物・ビット・不明土塙	
129		南清松井手角遺跡	散布地	三郷町清松字井手角			
130		福 光 下 生 津 遺 跡	散布地	三郷町福光字下生津			
131	680011	内田源助持久之墓	古 墓	三郷町吉町原字大道端	安土・桃山時代	福光大庄屋の墓	
132		福 光 井 竜 遺 跡	散布地	三郷町福光字井竜			
133		有 仙 寺 跡	古 寺	三郷町福光字薮の池	江戸時代		
134		岩 古 賀 八 幡 宮	神 社	三郷町生岩字	江戸時代	肥前狛犬	
135		前 田 の 板 碑	板 碑	三郷町玉満字前田	江戸時代?		
136		下 小 犬 塚 堂 田	散布地	三郷町下小犬塚字堂田	中世～近世		
137	680048	栗 の 内 遺 跡	散布地	三郷町生岩字栗の内	弥生時代		
138	680017	ど ん ど ん 山 古 墳	円 墳	三郷町玉満字中小路	古墳時代	消滅	
139	680022	中 小 路 六 地 蔵	石 塔	三郷町玉満字中小路	江戸時代	観音堂に安置	
140	680018	玉 満 柳 町 遺 跡 (原地名係・稲葉道跡)	散布地	三郷町玉満字柳町	古墳時代		
141		平 田 半 兵 衛 墓 碑	古 墓	三郷町西牟田字東京	江戸時代	元禄年間に千間溝開設の功勞者	
142	680045	三 島 神 社 遺 跡	散布地	三郷町西牟田字西本村	鎌倉時代		
143		本 町 三 島 神 社	神 社	三郷町西牟田字西本村	鎌倉～江戸時代	肥前狛犬・肥前鳥居	
144		寛 文 の 板 碑	板 碑	三郷町西牟田字本村中	江戸時代	寛文9酉年(1669)銘	
145		大 坪 三 島 宮	神 社	三郷町西牟田字北大坪	江戸時代	石造五重塔・庚申塔・農勸社	
146		十 進 寺 孫 田 遺 跡	散布地	三郷町西牟田字孫田	弥生・近世		
147	680043	十 八 ・ 銭 亀 遺 跡	墓 地	三郷町西牟田字十八・銭亀	江戸時代	蔵骨器出土	
148		西 牟 田 土 塁 跡	土 塁	三郷町西牟田字	戦国時代	土塁一部のみ残存	
149		西 牟 田 古 賀 遺 跡	散布地	三郷町西牟田字古賀	弥生・古墳時代		
150		西 牟 田 古 賀 古 墳	円 墳	三郷町西牟田字古賀	古墳時代	円墳か?	

地図番号	県番号	名 称	種 別	所 在 地	時 代	遺 跡 の 概 要	備 考
151		ウラ神サン塚	古 墓	三潞町西牟田字峰ノ下	江戸時代		
152		銭 亀 古 墳 円 墳		三潞町西牟田字銭亀	古墳時代	石棺有り?	
153		生 津 城 跡	城 跡	三潞町生岩字城の内	安土・桃山時代	天正4年(1576)築城、本丸東西73間、南北62間、西の堀のE13の広さ3間、中の堀のE13の広さ2間	
154		生 津 六 地 蔵	散布地	三潞町生岩字六地藏	中世		

2. 分布地図

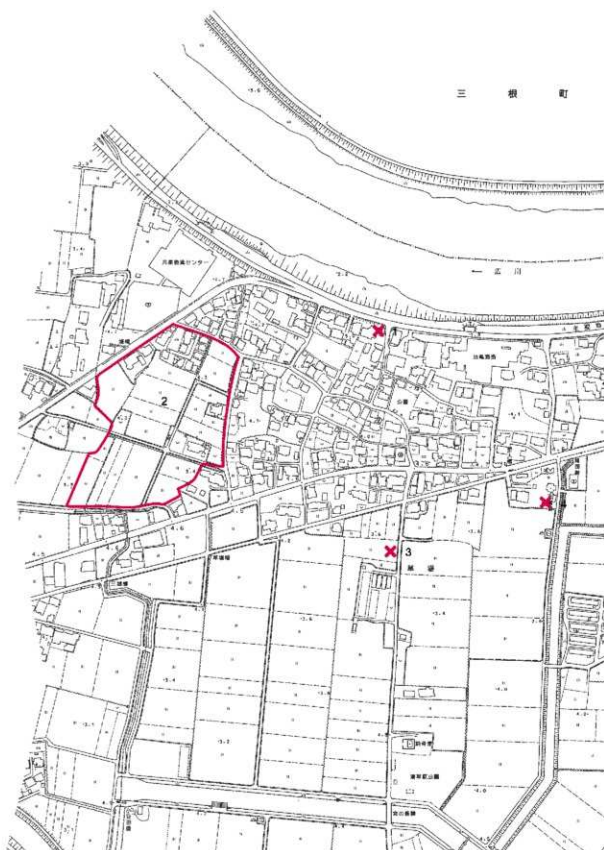


Fig. 2 遺跡分布地図 1 (1/5,000)

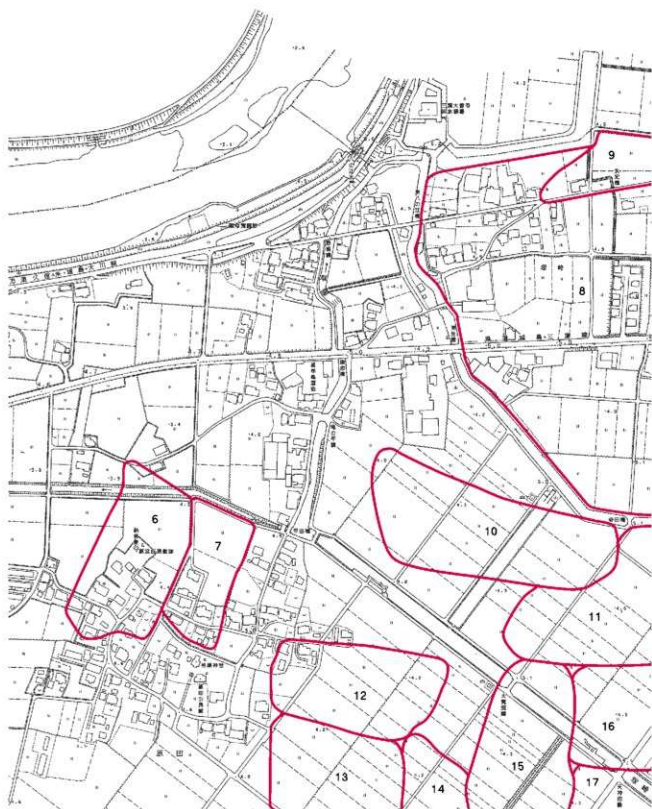


Fig. 3 遺跡分布地図 2 (1/5,000)

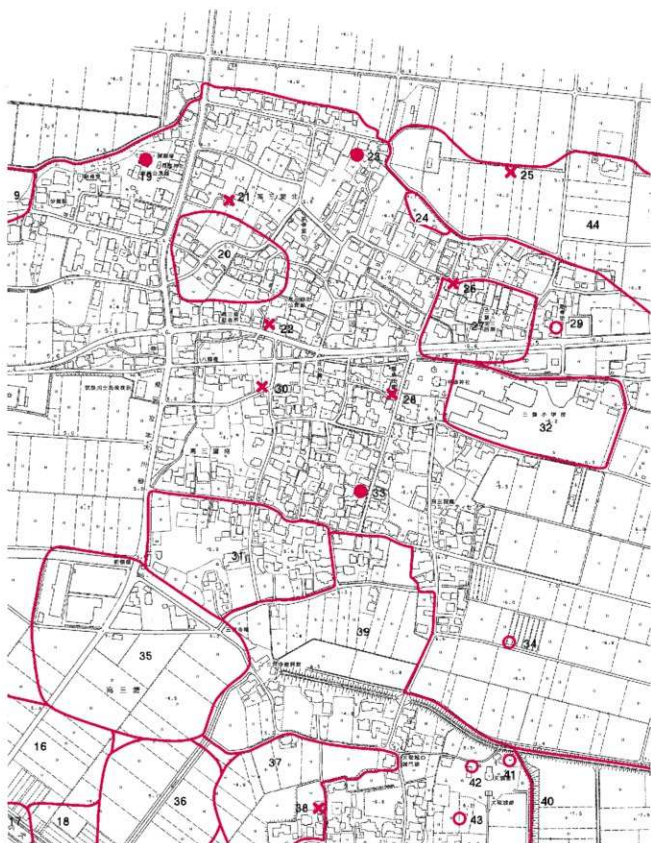


Fig. 4 遺跡分布地圖 3 (1/5,000)

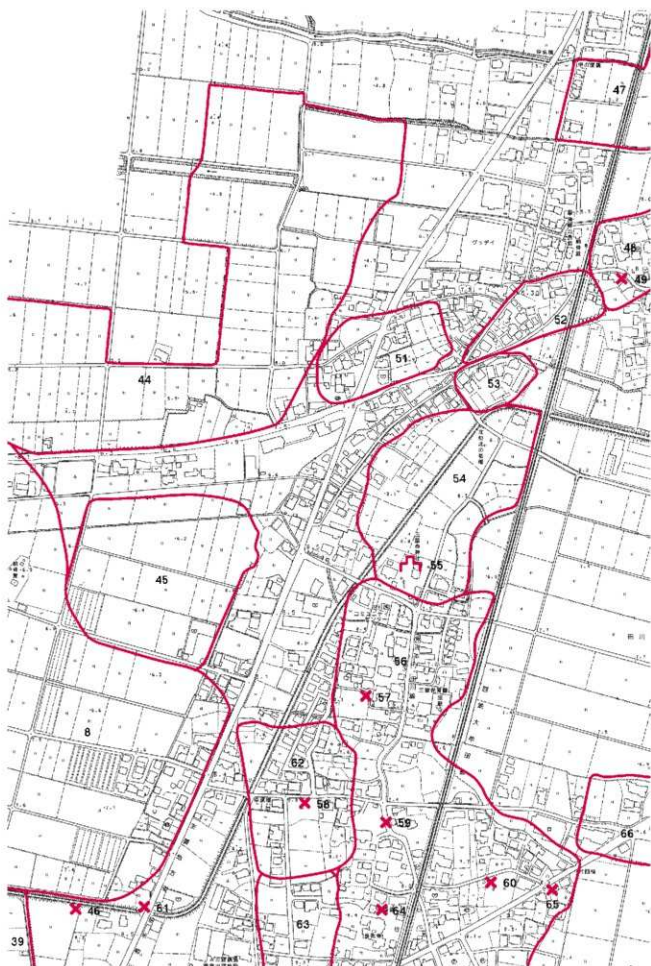


Fig. 5 遺跡等分布地図 4 (1/5,000)

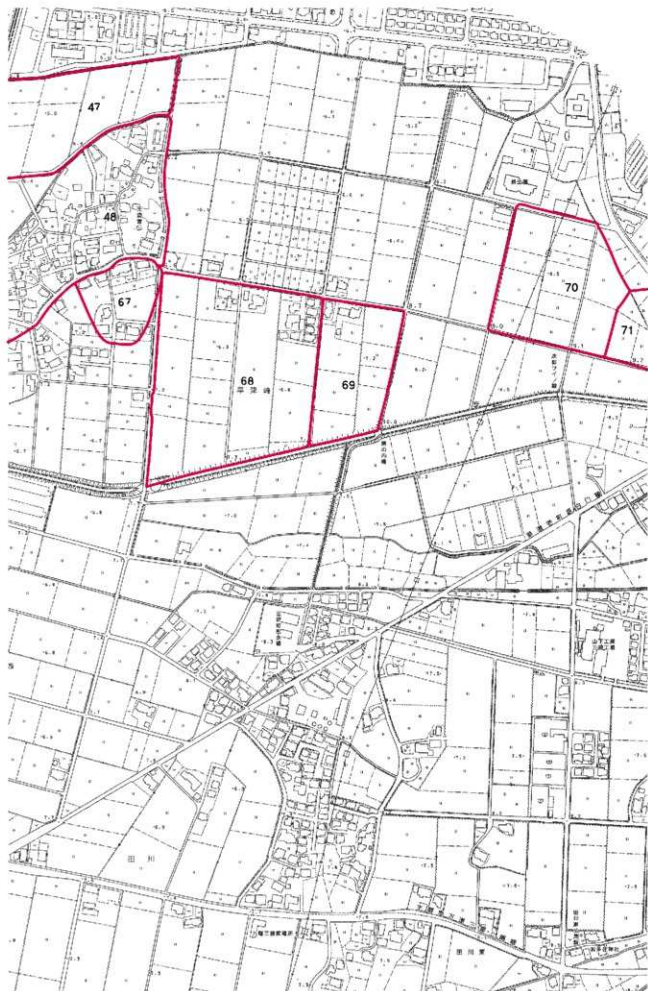


Fig. 6 遺跡分布地図 5 (1/5,000)



Fig. 7 遺跡分布地図 6 (1/5,000)

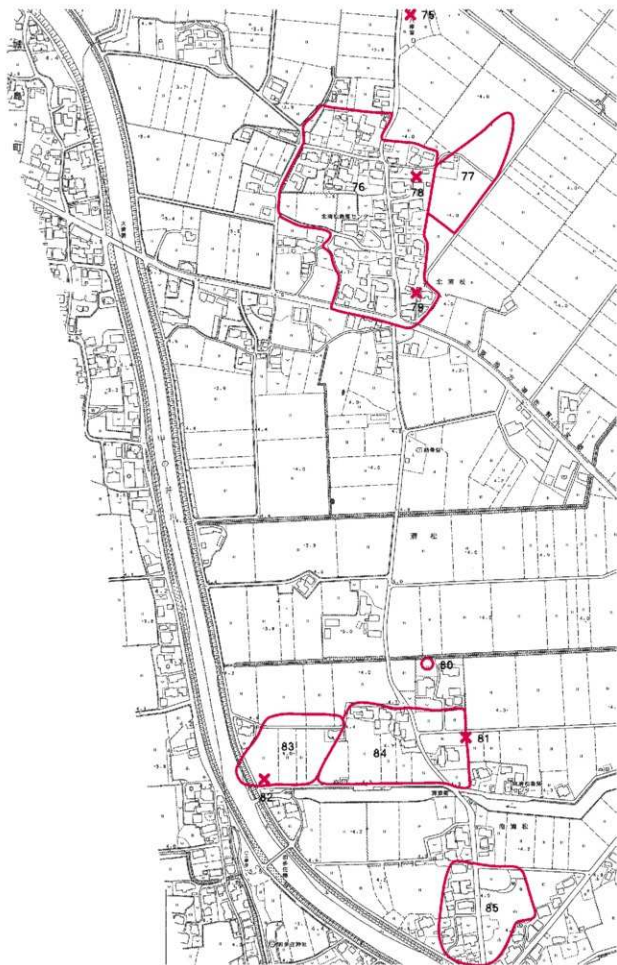


Fig. 8 遺跡等分布地図 7 (1/5,000)

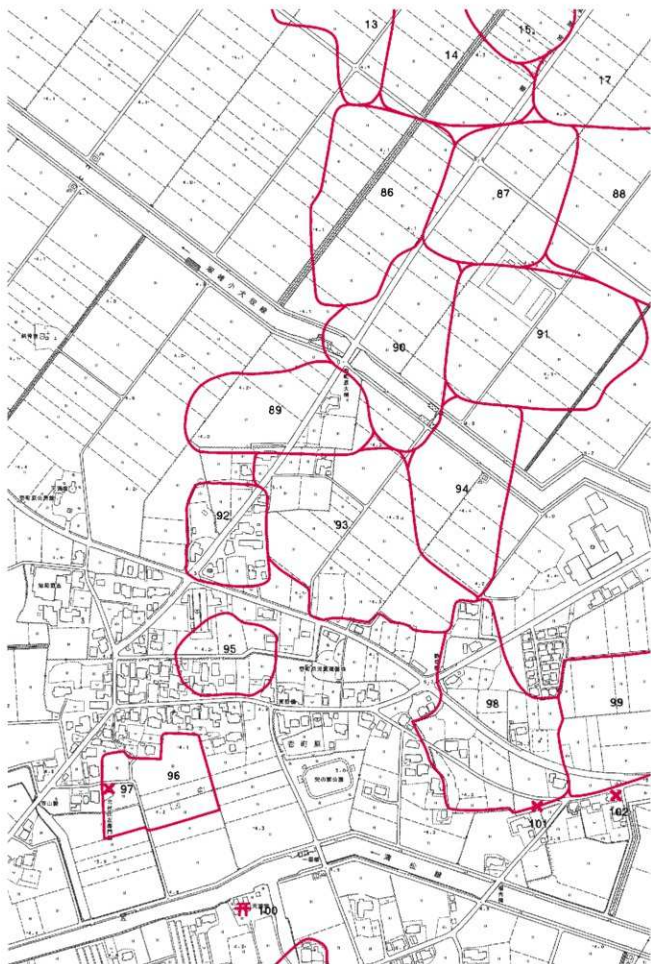


Fig. 9 遺跡分布地圖 8 (1/5,000)

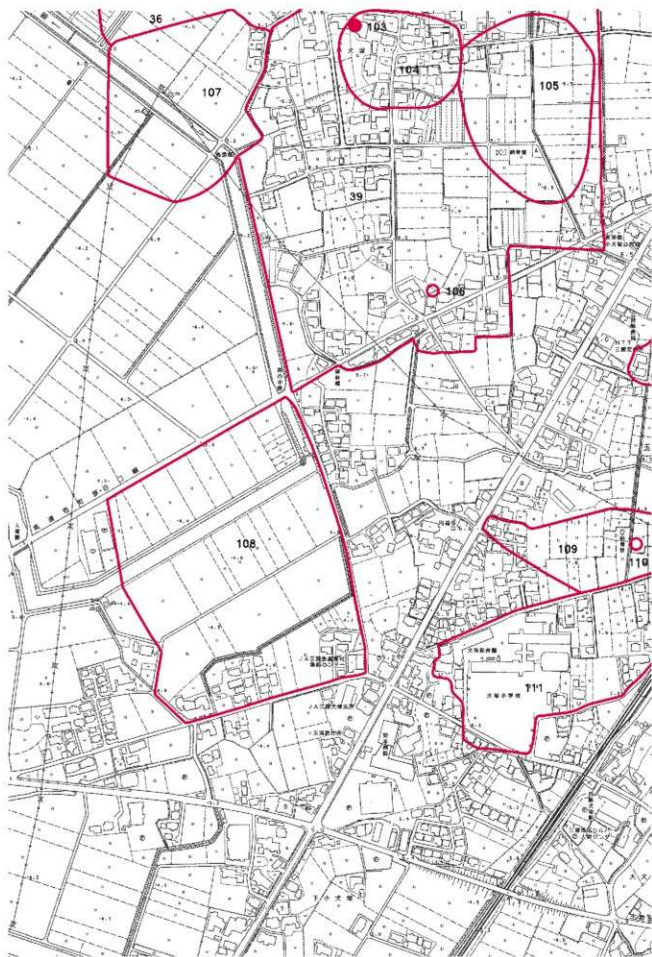
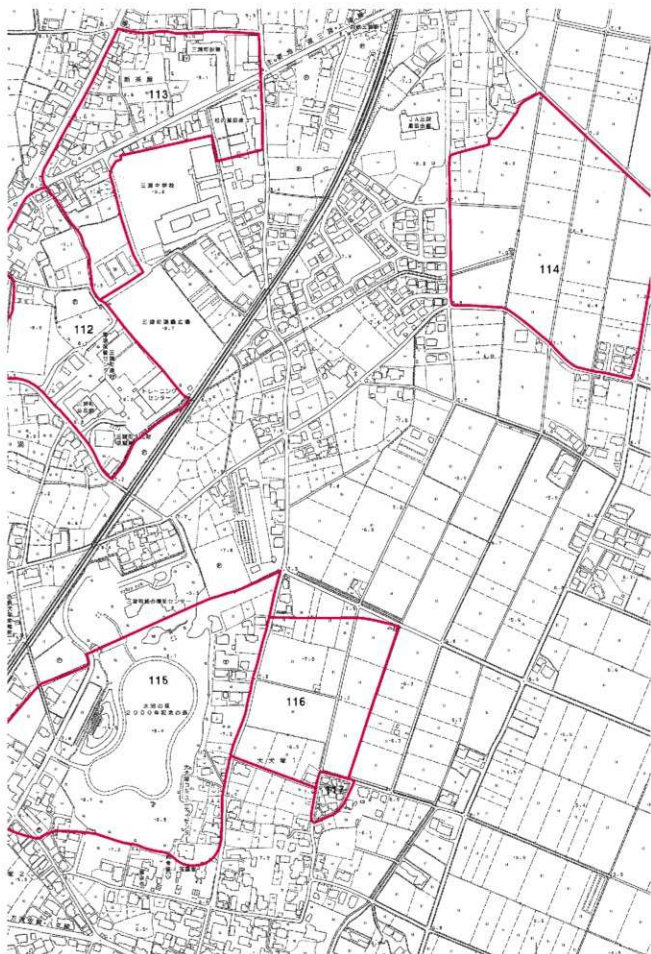


Fig.10 道跡等分布地図 9 (1/5,000)



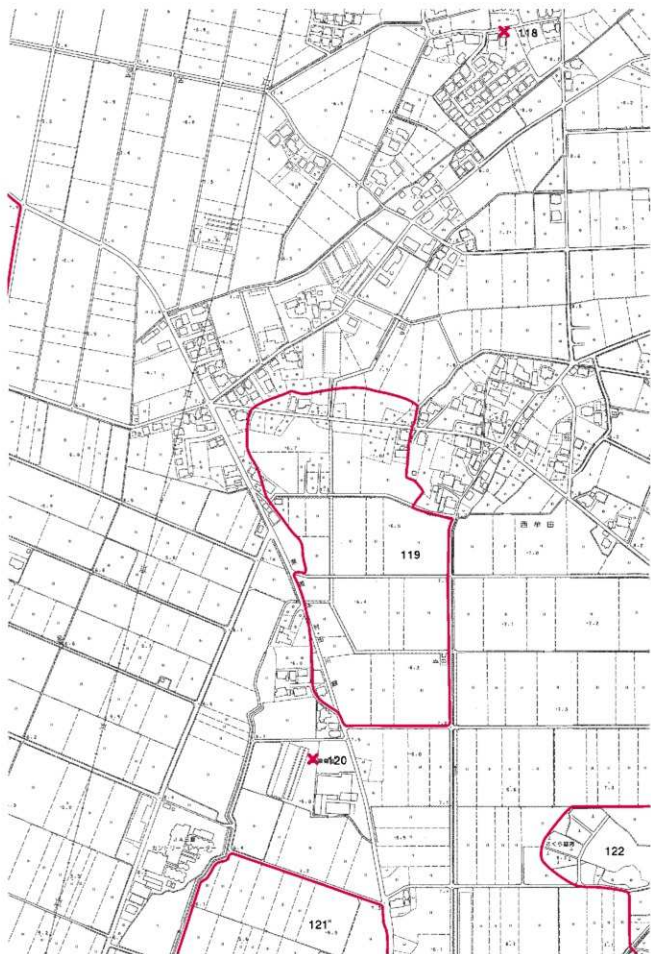


Fig. 12 遺跡等分布地図11 (1/5,000)



Fig.13 遺跡等分布地図12 (1/5,000)

久 留 米 市



Fig.14 遺跡等分布地図13 (1/5,000)



Fig.15 遺跡等分布地図14 (1/5,000)

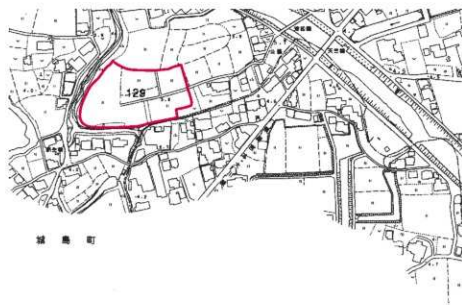


Fig.16 遺跡等分布地図15 (1/5,000)

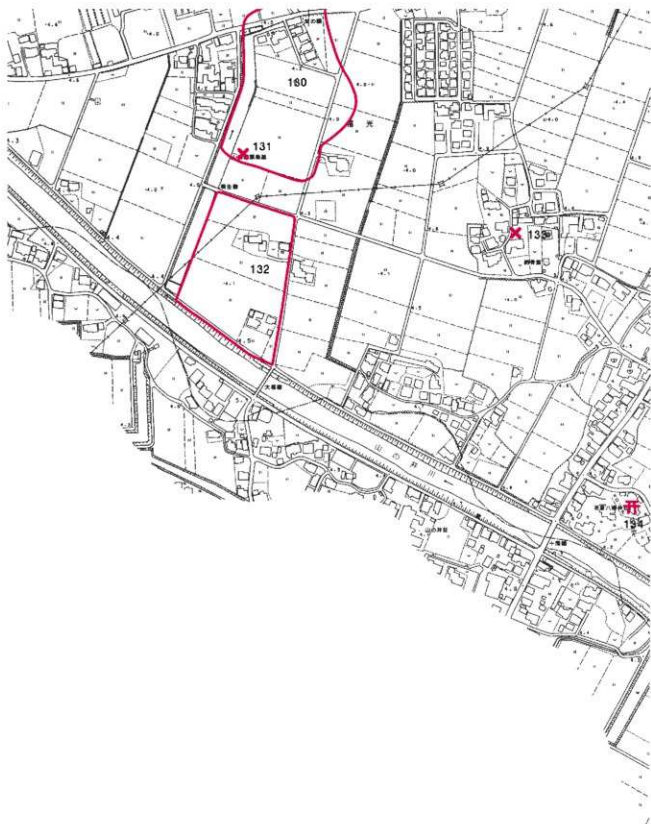


Fig.17 遺跡等分布地図16 (1/5,000)



Fig.18 遺跡等分布地図17 (1/5,000)

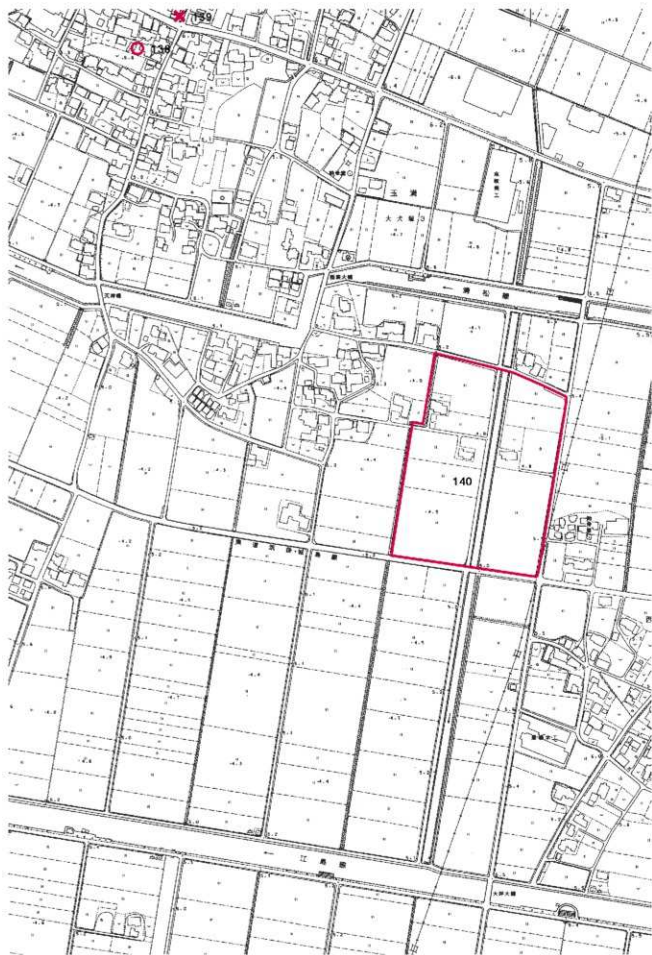


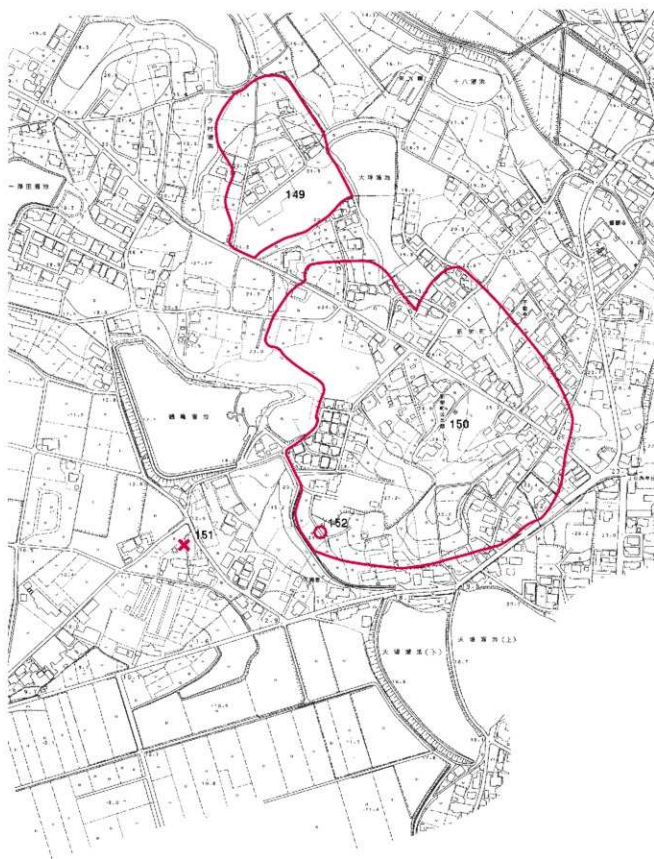
Fig.19 遺跡等分布地図18 (1/5,000)



Fig 20 遺跡分布地図19 (1/5,000)



Fig 21 遺跡等分布地図20 (1/5,000)



筑 後 市

Fig 22 遺跡等分布地図21 (1/5 000)

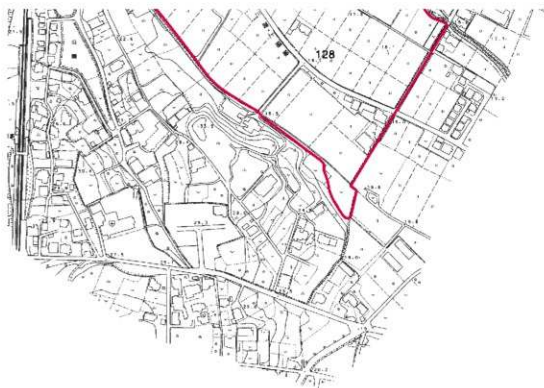


Fig 23 遺跡等分布地図22 (1/5,000)



Fig 24 遺跡分布地図23 (1/5,000)



Fig.25 遺跡等分布地図24 (1/5,000)

3. 採集遺物

図版No.	写真 図版 No.	出土地	種別	器種	法量 (cm)			色調		調整・装飾		胎土	備考	遺物登 録番号
					口徑 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚さ)	外面	内面	外面	内面			
Fig.1-1	PL-15	高三差道跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	(復原) 21.7	—	(現存) 4.0	にぶい褐色、 黒褐色	にぶい褐色	ナデ	ナデ	砂粒 石英粒少量	口縁部に刻み目	200324 -479
Fig.1-2	PL-13	高三差道跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	—	—	(現存) 2.1	灰褐色	灰黄	ヨコナデ	ヨコナデ	砂粒多	口縁部に刻み目	200324 -372
Fig.1-3	PL-12	高三差道跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	—	—	(現存) 4.4	にぶい橙	にぶい赤褐色	ナデ→押え	ヨコナデ	砂粒	口縁部に刻み目	200324 -408
Fig.1-4	—	高三差道跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	—	—	(現存) 4.5	黒	灰褐色	ミガキ	ミガキ	砂粒		200324 -407
Fig.1-5	PL-17	高三差道跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	(復原) 24.2	—	(現存) 9.1	にぶい橙	灰黄褐色	ナデ・押え	ヨコナデ →刷毛目	砂粒	胴部に断面三角 突帯	200324 -398
Fig.1-6	PL-14	高三差道跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	—	—	(現存) 5.0	灰褐色	灰褐色	ナデ	ナデ	精良	口縁部に刻み目 胴部に断面三角突帯	200324 -478
Fig.1-7	PL-10	高三差道跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	—	—	(現存) 5.6	にぶい橙	にぶい橙→橙	ナデ、押え	ナデ→刷毛目	精良 角閃石多く含む		200324 -421
Fig.1-8	PL-14	高三差道跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	—	—	(現存) 8.4	にぶい黄橙	にぶい赤褐色	ナデ、押え	ヨコナデ →刷毛目	砂粒多		200324 -403
Fig.1-9	PL-15	高三差道跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	(復原) 24.2	—	(現存) 5.5	にぶい黄橙	にぶい褐色	ナデ、押え	ヨコナデ →刷毛目	砂粒多		200324 -404
Fig.1-10	—	高三差道跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	(復原) 28.9	—	(現存) 4.0	にぶい橙、 灰褐色	灰褐色	ナデ	刷毛目	精良		200324 -425
Fig.1-11	PL-13	高三差道跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	—	—	(現存) 6.3	にぶい橙	橙	ナデ、押え	ナデ、刷毛目	砂粒多	胴部に沈線一条	200324 -401
Fig.1-12	PL-16	高三差道跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	—	—	(現存) 11.1	暗灰色	にぶい黄橙	ナデ→押え	ヨコナデ、ナデ	細砂粒	口縁部に刻み目、胴部 に断面三角突帯	200324 -400
Fig.1-13	—	高三差道跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	(復原) 28.4	—	(現存) 6.3	明褐色→褐色	にぶい橙、 明赤褐色	ナデ	ナデ、刷毛目	砂粒 角閃石を少量		200324 -559
Fig.1-14	PL-11	高三差道跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	—	—	(現存) 5.7	にぶい黄橙	にぶい橙	ナデ、押え	ナデ	砂粒多	口縁部に刻み目、胴部 に断面三角突帯	200324 -402
Fig.1-15	—	高三差道跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	—	—	(現存) 3.1	淡赤茶褐色	淡灰褐色	ナデ	刷毛目	砂粒少		200324 -360
Fig.1-16	PL-19	高三差道跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	(復原) 25.0	—	(現存) 8.4	にぶい黄橙	にぶい橙	ナデ、押え	ヨコナデ	細砂粒、雲母	胴部に断面三角 突帯一条	200324 -397
Fig.1-17	—	高三差道跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	—	—	(現存) 3.7	橙	にぶい褐色	ナデ、ヨコナデ	ヨコナデ、 刷毛目	細砂粒、雲母		200324 -369
Fig.1-18	—	高三差道跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	—	—	(現存) 3.9	淡赤茶褐色	淡赤茶褐色	ヨコナデ	ヨコナデ	砂粒少		200324 -359
Fig.1-19	—	高三差道跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	—	—	(現存) 5.7	灰黄褐色	にぶい赤褐色	ナデ、押え	ヨコナデ、 刷毛目	砂粒多	胴部に沈線一条	200324 -406
Fig.1-20	PL-18	高三差道跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	—	—	(現存) 9.8	褐色	にぶい褐色	ナデ	ヨコナデ ナデ	砂粒多		200324 -405
Fig.1-21	—	高三差道跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	—	—	(現存) 2.1	にぶい橙 灰白→褐色	浅黄橙	ナデ 刷毛目	刷毛目 ナデ	砂粒、角閃石、 石英、金雲母		200324 -482
Fig.1-22	PL-12	高三差道跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	—	—	(現存) 5.1	にぶい橙、 褐色	にぶい橙	ナデ→押え?	ナデ	砂粒、石英、 金雲母	胴部に断面三角 突帯一条	200324 -561
Fig.1-23	—	高三差道跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	—	—	(現存) 3.6	にぶい橙	橙	ナデ	ナデ 刷毛目→ナデ	細砂粒 金雲母	胴部に断面三角 突帯一条	200324 -560
Fig.1-24	—	高三差道跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	—	—	(現存) 3.8	明赤褐色	明赤褐色	ナデ	ナデ	精良		200324 -424
Fig.1-25	—	高三差道跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	—	—	(現存) 2.2	にぶい橙	にぶい橙	ナデ	ナデ 刷毛目	細砂粒		200324 -454
Fig.1-26	—	高三差道跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	—	—	(現存) 4.2	にぶい褐色	にぶい褐色	ナデ	ナデ押え ナデ	砂粒 石英、角閃石		200324 -484
Fig.1-27	—	高三差道跡群 (貝塚御前塚)	弥生	鉢	—	—	(現存) 4.4	にぶい橙 褐色	橙、灰褐色	ナデ	刷毛目	砂粒 石英、赤色粒子		200324 -490
Fig.1-28	—	高三差道跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	—	—	(現存) 3.5	浅黄橙	浅黄橙	ナデ	口縁、刷毛目 ナデ	砂粒 角閃石		200324 -427
Fig.1-29	—	高三差道跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	—	—	(現存) 4.9	橙	橙	ナデ	ヨコナデ →刷毛目	細砂粒 雲母		200324 -370
Fig.1-30	—	高三差道跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	—	—	(現存) 5.2	淡茶褐色	淡白茶褐色	ナデ	ナデ→刷毛目	砂粒少		200324 -361

図版No.	写真 図版 No.	出土地	種別	器種	法量 (cm)			色調		調整・装飾		胎土	備考	遺物登 録番号
					口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚み)	外面	内面	外面	内面			
Fig.1-31	—	高二差遺跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	—	—	(残存) 7.2	にぶい・橙 ～暗褐色	にぶい・橙	ナデ	刷毛目	砂粒、角閃石、 石英、金雲母		200324 -481
Fig.1-32	—	高二差遺跡群 (貝塚御前塚)	弥生	鉢	—	—	(残存) 5.0	浅黄褐色	にぶい・黄褐色	ナデ	刷毛目	精良 石英		200324 -489
Fig.1-33	PL.1-11	高二差遺跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	—	—	(残存) 4.9	にぶい・橙	にぶい・橙	ナデ	刷毛目	精良		200324 -450
Fig.1-34	—	高二差遺跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	—	—	(残存) 7.2	にぶい・黄褐色	橙	ナデ →ヨコナデ	ヨコナデ →刷毛目	砂粒		200324 -382
Fig.1-35	—	高二差遺跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	34.2	(復原)	(残存) 3.7	にぶい・橙	橙	ヨコナデ	ヨコナデ	砂粒多 雲母		200324 -394
Fig.1-36	—	高二差遺跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	—	—	(残存) 5.4	灰褐色	橙	ナデ、押え	ヨコナデ 刷毛目	砂粒 雲母		200324 -399
Fig.1-37	—	高二差遺跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	—	—	(残存) 3.0	橙	橙	ヨコナデ	ヨコナデ	砂粒		200324 -383
Fig.1-38	—	高二差遺跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	—	—	(残存) 4.4	橙	橙	刷毛目 ナデ	ヨコナデ	砂粒多 雲母	口縁内側に打ち 欠く	200324 -395
Fig.1-39	—	高二差遺跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	—	—	(残存) 4.7	灰黄褐色	にぶい・黄褐色	ヨコナデ	ヨコナデ	砂粒多		200324 -381
Fig.2-1	PL.1-36	高二差遺跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	—	6.3	(残存) 5.8	にぶい・黄褐色 ～ にぶい・橙	浅黄褐色	刷毛目 ナデ	ナデ	砂粒、角閃石、 金雲母、石英		200324 -520
Fig.2-2	PL.1-20	高二差遺跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	—	6	(残存) 7.0	橙 にぶい・黄褐色	黒 褐色	刷毛目 ナデ	ナデ、押え	砂粒、角閃石、 金雲母、石英		200324 -518
Fig.2-3	PL.1-24	高二差遺跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	—	5.9	(残存) 4.1	橙～黄褐色	にぶい・黄褐色	ナデ	ナデ	砂粒		200324 -516
Fig.2-4	PL.1-23	高二差遺跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	—	5.9	(残存) 3.1	赤褐色 にぶい・赤	にぶい・赤褐色	ナデ	ナデ	砂粒 角閃石、石英		200324 -517
Fig.2-5	PL.1-27	高二差遺跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	—	(復原) 8.4	(残存) 6.1	褐色 暗灰色	灰褐色	刷毛目 ナデ	押え	砂粒 石英		200324 -519
Fig.2-6	PL.1-19	高二差遺跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	—	7.2	(残存) 4.0	赤褐色～暗赤 灰、にぶい・橙	にぶい・黄褐色	刷毛目 ナデ	ナデ	砂粒、角閃石、 石英、金雲母		200324 -521
Fig.2-7	PL.1-16	高二差遺跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	—	9	(残存) 5.1	にぶい・黄褐色 暗灰色	にぶい・黄褐色	刷毛目 ナデ	ナデ	砂粒、角閃石、 石英、雲母		200324 -525
Fig.2-8	PL.1-25	高二差遺跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	—	5.4	(残存) 3.3	にぶい・黄褐色～ 灰黄褐色、橙	灰黄褐色	刷毛目 ナデ	ナデ	細砂粒 角閃石、金雲母		200324 -515
Fig.2-9	—	高二差遺跡群 (貝塚御前塚)	弥生	支脚	—	5	(残存) 2.7	にぶい・褐色～ にぶい・橙	—	ナデ、押え	—	砂粒		200324 -557
Fig.2-10	—	高二差遺跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	—	6.2	(残存) 3.9	灰褐色、橙	暗灰色	刷毛目 ナデ	ナデ	砂粒、石英、 金雲母、角閃石		200324 -523
Fig.2-11	—	高二差遺跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	—	6	(残存) 4.3	橙、にぶい・橙	にぶい・黄褐色 暗灰色	板ナデ ナデ	ナデ	砂粒、石英、 金雲母、角閃石		200324 -522
Fig.2-12	PL.1-22	高二差遺跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	—	(復原) 8.0	(残存) 4.0	にぶい・黒	にぶい・黄褐色	刷毛目 ナデ	ナデ	砂粒		200324 -392
Fig.2-13	—	高二差遺跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	—	(復原) 6.2	(残存) 3.3	橙、暗灰色	赤褐色～橙	ナデ	ナデ	精良		200324 -550
Fig.2-14	—	高二差遺跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	—	(復原) 8.0	(残存) 5.8	にぶい・黄褐色	にぶい・黄褐色	刷毛目 ナデ	ナデ、押え	細砂粒 角閃石	内面の底が削げ ている	200324 -393
Fig.2-15	PL.1-17	高二差遺跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	—	9.6	(残存) 6.3	にぶい・褐色、 黒	灰白色	板ナデ ナデ	ナデ	砂粒 角閃石		200324 -390
Fig.2-16	—	高二差遺跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	—	(復原) 8.4	(残存) 2.5	黒褐色	褐色	刷毛目 ナデ	ナデ	細砂粒		200324 -552
Fig.2-17	—	高二差遺跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	—	(復原) 9.0	(残存) 8.9	灰黄褐色	橙	刷毛目 ナデ	刷毛目 ナデ、押え	砂粒 雲母、角閃石	外面一部に煤附 着、内面に灰が	200324 -391
Fig.2-18	—	高二差遺跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	—	(復原) 5.6	(残存) 5.4	浅黄褐色	にぶい・黄褐色	ナデ	ナデ	砂粒多		200324 -388
Fig.2-19	—	高二差遺跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	—	(復原) 7.0	(残存) 2.5	暗赤褐色 にぶい・橙	赤褐色、赤黒、 黒	刷毛目	刷毛目	細砂粒		200324 -529
Fig.2-20	—	高二差遺跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	—	(復原) 8.75	(残存) 3.6	赤、にぶい・橙、 暗灰色	にぶい・橙	ミガキ ナデ	不明	砂粒		200324 -526
Fig.2-21	—	高二差遺跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	—	8.8	(残存) 3.8	茶褐色	黒茶褐色	刷毛目 ナデ	ナデ	砂粒 雲母		200324 -366

図版No.	写真 図版 No.	出土地	種別	器種	法量 (cm)			色調		調整・装飾		胎土	備考	遺物登 録番号
					口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚み)	外面	内面	外面	内面			
Fig.2-22	—	高三並道跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	—	(復原) 4.8	(現存) 3.0	黒	浅黄色	ナデ→ミガキ	ナデ→ミガキ	砂粒 角閃石		200324 -389
Fig.2-23	PL.1-21	高三並道跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	—	(復原) 9.0	(現存) 7.8	にぶい黄緑 褐色	にぶい	刷毛目 ナデ	ナデ、押え	精良		200324 -524
Fig.2-24	PL.1-18	高三並道跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	—	(復原) 8.4	(現存) 7.6	浅黄色	暗灰色	刷毛目 ナデ	ナデ、押え	細砂粒		200324 -385
Fig.2-25	—	高三並道跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	—	(復原) 11.3	(現存) 5.0	橙、にぶい	にぶい	刷毛目 ナデ	ナデ、押え	砂粒 角閃石		200324 -530
Fig.2-26	—	高三並道跡群 (貝塚御前塚)	弥生	甕	—	(復原) 7.1	(現存) 3.3	橙、暗褐色	にぶい	ミガキ	ミガキ	細砂粒、赤色粒 子、角閃石		200324 -531
Fig.2-27	PL.1-28	高三並道跡群 (貝塚御前塚)	弥生	高杯	(復原) 21.25	—	(現存) 7.1	橙	黄緑	ナデ? ミガキ	ミガキ	細砂粒 石英		200324 -508
Fig.2-28	PL.1-29	高三並道跡群 (貝塚御前塚)	弥生	高杯	(復原) 15.0	—	(現存) 5.2	橙	橙	ナデ ミガキ?	ナデ→ミガキ	細砂粒		200324 -558
Fig.2-29	PL.1-30	高三並道跡群 (貝塚御前塚)	弥生	器台	8.6	—	(現存) 9.3	灰黄色	暗灰色	ケズリ	ケズリ 押え	砂粒 角閃石		200324 -387
Fig.2-30	PL.1-31	高三並道跡群 (貝塚御前塚)	弥生	支脚	—	6	(現存) 6.6	にぶい	—	ナデ→押え	—	砂粒 石英		200324 -556
Fig.2-31	—	高三並道跡群 (貝塚御前塚)	弥生	器台	—	(復原) 13.2	(現存) 7.8	橙、褐色、 にぶい褐色	橙、褐色、 にぶい褐色	刷毛目、 ヨコナデ	ナデ、押え、 刷毛目	精良 石英、金雲母		200324 -491
Fig.2-32	—	高三並道跡群 (貝塚御前塚)	弥生	器台	—	(復原) 11.2	(現存) 8.3	茶褐色	茶褐色	ナデ	刷毛目	精良		200324 -364
Fig.2-33	—	高三並道跡群 (貝塚御前塚)	弥生	器台	—	(復原) 7.2	(現存) 6.5	茶褐色	浅茶白褐色	ナデ	指押え		外器面に化粧土	200324 -363
Fig.3-1	—	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	甕	(復原) 31.0	—	(現存) 3.9	にぶい黄緑	にぶい	ヨコナデ 刷毛目→ヨコナデ	ヨコナデ	細砂粒		200324 -438
Fig.3-2	PL.2-1	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	甕	—	—	(現存) 4.8	褐色	褐色	横方向のミガ キ筋部に増文	横方向のミガ キ	砂粒少	口縁端に刻み目 縦部・通底三角状彫	200324 -302
Fig.3-3	—	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	甕	—	—	(現存) 4.1	にぶい黄緑	浅黄緑	ヨコナデ、 刷毛目	ヨコナデ	砂粒		200324 -485
Fig.3-4	PL.1-39	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	甕	—	—	(現存) 4.8	黒茶褐色	黒茶褐色	刷毛目	割離により 不明	砂粒 雲母	口縁端に刻み目	200324 -264
Fig.3-5	—	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	甕	—	—	(現存) 4.9	灰黄色、浅茶 褐色	明赤褐色	風化により 不明	風化により 不明	砂粒 雲母		200324 -250
Fig.3-6	PL.1-40	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	甕	—	—	(現存) 5.1	明赤茶褐色	茶褐色	刷毛目	刷毛目	砂粒 雲母	口縁端に刻み目	200324 -265
Fig.3-7	—	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	甕	—	—	(現存) 5.7	灰黄色→褐色 色、灰色	灰白色→にぶ い黄緑、灰色	ナデ	ナデ ケズリ	精良 石英		200324 -307
Fig.3-8	—	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	甕	(復原) 28.8	—	(現存) 2.8	浅黄緑	にぶい黄色	ヨコナデ	ヨコナデ 刷毛目	細砂粒		200324 -060
Fig.3-9	—	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	甕	—	—	(現存) 5.7	褐色→灰色	褐色	ナデ	ナデ ナデ、ケズリ	細砂粒		200324 -208
Fig.3-10	PL.1-38	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	甕	(復原) 14.2	—	(現存) 8.6	淡暗茶色	淡暗白灰色	風化により 不明	ヨコナデ ケズリ?	砂粒 角閃石		200324 -293
Fig.3-11	—	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	甕	(復原) 19.1	—	(現存) 10.7	淡茶黑色	淡暗白灰色	刷毛目 ヨコナデ	ヨコナデ ケズリ?	細砂粒 石英、金雲母	外器面に縦溝	200324 -294
Fig.3-12	—	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	甕	(復原) 15.0	—	(現存) 5.8	にぶい黄緑	橙	ヨコナデ 刷毛目	ヨコナデ 刷毛目	砂粒		200324 -100
Fig.3-13	—	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	甕	(復原) 16.0	—	(現存) 4.1	にぶい	にぶい	ヨコナデ 刷毛目	ヨコナデ ケズリナデ	細砂粒		200324 -061
Fig.3-14	—	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	甕	(復原) 38.0	—	(現存) 6.8	淡乳灰茶色	淡乳茶色	ヨコナデ 刷毛目	刷毛目	細砂粒 金雲母		200324 -295
Fig.3-15	PL.1-36	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	甕	(復原) 14.8	—	(現存) 5.0	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	ヨコナデ 刷毛目	ヨコナデ 刷毛目	砂粒多		200324 -117
Fig.3-16	PL.1-33	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	甕	(復原) 20.4	—	(現存) 8.7	淡白茶褐色	淡白茶褐色	刷毛目	刷毛目	細砂粒少		200324 -248
Fig.3-17	PL.1-35	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	甕	15.8	—	(現存) 4.5	茶褐色	茶褐色	ナデ 刷毛目	ナデ	細砂粒少		200324 -243
Fig.3-18	PL.1-34	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	甕	(復原) 19.8	—	(現存) 6.0	にぶい黄緑→ 黒褐色	浅黄色→ 灰黄色	ヨコナデ 刷毛目	ヨコナデ 刷毛目	細砂粒		200324 -063

図版No.	写真 図版 No.	出土地	種別	器種	法量 (cm)			色調		調整・装飾		胎土	備考	遺物登 録番号
					口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚み)	外面	内面	外面	内面			
Fig.3-19	—	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	甕棺	—	—	(現存) 4.9	茶褐色	茶褐色	ナデ	ナデ	砂粒少		200324 -259
Fig.3-20	—	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	甕棺	—	—	(現存) 6.3	灰黄褐色	粒	ナデ	ナデ	砂粒		200324 -111
Fig.3-21	—	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	甕棺	—	—	(現存) 5.0	赤茶褐色	赤茶褐色	ナデ	ナデ	砂粒少	残存内外面に 未塗りを施す	200324 -257
Fig.3-22	—	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	甕棺	—	—	(現存) 3.2	にぶい粒	粒	ナデ	ナデ	砂粒 角四石	残存内外面に 未塗りを施す	200324 -112
Fig.3-23	—	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	甕棺	—	—	(現存) 5.3	茶褐色 黒茶褐色	茶褐色 黒茶褐色	ナデ	ナデ	砂粒少		200324 -258
Fig.3-24	—	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	甕棺	—	—	(現存) 4.3	にぶい黄粒	にぶい黄粒	ヨコナデ ナデ	ヨコナデ ナデ	砂粒		200324 -114
Fig.3-25	—	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	甕棺	—	—	(現存) 7.1	にぶい黄粒	灰黄色	風化により 不明	風化により 不明	砂粒	胴部・底面・蓋、胴部 に黒面彩を施す	200324 -110
Fig.3-26	PL.1-32	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	甕	(復原) 20.7	—	(現存) 18.8	淡茶褐色 黒茶褐色	淡茶褐色	ナデ 刷毛目	ナデ 刷毛目	砂粒少	239と同一個体	200324 -238
Fig.3-27	PL.1-37	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	甕	—	(復原) 6.0	(現存) 12.8	淡茶褐色 黒茶褐色	淡茶褐色	ナデ 刷毛目	ナデ 刷毛目	砂粒少	238と同一個体	200324 -239
Fig.3-28	PL.1-33	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	甕	—	—	(現存) 11.2	灰黄～黄灰 にぶい黄褐色	灰黄～黄灰 にぶい黄褐色	刷毛目	ナデ	砂粒 石英		200324 -206
Fig.4-1	PL.2-2	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	甕	(復原) 17.0	—	(現存) 24.3	淡茶褐色	淡灰色～茶褐色 →濃灰色	刷毛目	刷毛目	精良 砂粒少、雲母	胴部等に黒面彩を施す	200324 -236
Fig.4-2	—	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	甕	(復原) 14.3	—	(現存) 8.0	灰白色～ にぶい黄褐色	灰黄色～ にぶい黄褐色	ナデ、ケズリ ナデ	ナデ 刷毛目	赤色砂子、砂粒		200324 -205
Fig.4-3	—	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	甕	—	—	(現存) 15.5	にぶい黄、灰白～ にぶい黄褐色	粒～にぶい粒	刷毛目	刷毛目	多量の石粉 砂粒	胴部に断面三角 突等一系施す	200324 -203
Fig.4-4	PL.2-4	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	甕	—	(復原) 7.4	(現存) 4.7	粒	粒	刷毛目 ナデ	指ナデ	砂粒 雲母		200324 -118
Fig.4-5	—	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	甕	—	6.3	(現存) 4.2	浅黄色	浅黄色	ケズリ	ナデ、指押え	細砂粒		200324 -068
Fig.4-6	PL.2-7	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	甕	—	(復原) 8.6	(現存) 6.4	にぶい粒	黒	刷毛目 ナデ	ナデ	砂粒 角四石		200324 -119
Fig.4-7	PL.2-8	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	甕	—	5.7	(現存) 4.6	乳白茶色	乳白茶色	刷毛目 押え	ナデ?	細砂粒		200324 -268
Fig.4-8	PL.2-5	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	甕	—	9.4	(現存) 5.5	淡乳茶褐色 淡乳白茶色	淡乳白茶色	刷毛目 ナデ	ケズリ 押え	砂粒 角四石		200324 -292
Fig.4-9	—	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	甕	—	(復原) 8.4	(現存) 4.9	灰褐色	灰色	刷毛目	ナデ 刷毛目→板ナデ	砂粒		200324 -140
Fig.4-10	—	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	甕	—	(復原) 6.5	(現存) 10.0	淡白茶色、 淡黒色	淡白茶色	ケズリ?	刷毛目	砂粒 角四石		200324 -296
Fig.4-11	PL.2-9	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	甕	—	8.3	(現存) 4.1	乳肌色	—	刷毛目 ナデ	—	精良 角四石		200324 -282
Fig.4-12	—	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	甕	—	(復原) 6.8	(現存) 4.3	にぶい黄粒	灰黄褐色	刷毛目 押え、ナデ	押え、ナデ	精良		200324 -046
Fig.4-13	—	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	甕	—	(復原) 9.0	(現存) 3.0	浅黄色	灰黄色	刷毛目→ナデ	ナデ	細砂粒 角四石	内面に若干の復 付着	200324 -135
Fig.4-14	—	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	甕	—	(復原) 7.4	(現存) 4.9	赤茶褐色	黒灰色	刷毛目 ナデ	指押え ナデ	精良 角四石		200324 -281
Fig.4-15	PL.2-6	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	甕	—	8	(現存) 3.5	黒色	灰色	刷毛目 ナデ	指ナデ 板ナデ	砂粒		200324 -121
Fig.4-16	—	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	甕	—	(復原) 6.6	(現存) 4.7	灰黄褐色～黒 褐色	灰黄褐色 ～褐色	刷毛目 ヘラケズリ	ケズリ→ナデ	細砂粒		200324 -066
Fig.4-17	—	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	甕	—	(復原) 8.0	(現存) 6.1	乳白淡茶色	乳白淡茶色	磨滅により 不明	磨滅により 不明	細砂粒 金雲母、角四石		200324 -291
Fig.4-18	PL.2-12	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	高坏	—	—	(現存) 6.9	粒	粒	磨滅により 不明	ナデ シボリ、ナデ	砂粒		200324 -078
Fig.4-19	PL.2-11	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	高坏	—	—	(現存) 9.0	赤色	にぶい黄粒	ミガキ ナデ	ナデ、シボリ	外面は未塗り		200324 -155
Fig.4-20	PL.2-10	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	高坏	—	—	(現存) 12.1	粒～にぶい黄粒 にぶい黄粒	粒～明赤褐色 にぶい黄粒	ミガキ	ナデ	砂粒多 石英、長石		200324 -217

図版No.	写真 図版 No.	出土地	種別	器種	法量 (cm)			色調		調整・装飾		胎土	備考	遺物登 録番号
					口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚み)	外面	内面	外面	内面			
Fig.4-21	PL.2-13	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	器台	(復原) 11.0	—	(現存) 12.6	淡乳茶褐色	茶乳褐色	刷毛目	刷毛目 ケズリ	精良 角四石少		200324 -277
Fig.4-22	—	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	器台	(復原) 13.0	—	(現存) 10.7	にぶい橙	にぶい橙	刷毛目 ヨコナデ	ナデ、刷毛目、 ヨコナデ	砂粒		200324 -150
Fig.4-23	PL.2-14	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	器台	13.7	13.15	17.4	茶褐色	茶褐色	指ナデ ヨコナデ	指ナデ	精良		200324 -266
Fig.4-24	—	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	器台	(復原) 10.8	—	(現存) 9.6	にぶい黄緑	にぶい黄緑	刷毛目 ヨコナデ	ヨコナデ ナデ、押え	砂粒		200324 -147
Fig.4-25	—	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	器台	—	(復原) 11.0	(現存) 5.4	浅黄色	浅黄色	ヘラケズリ →ナデ	シボリ	砂粒		200324 -225
Fig.4-26	—	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	器台	—	(復原) 13.5	(現存) 7.9	にぶい黄緑、 にぶい橙、黄灰	褐色系→ にぶい黄緑	刷毛目 刷毛目→ナデ	ナデ ナデ、ケズリ	砂粒 石英、長石		200324 -220
Fig.4-27	PL.2-16	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	鉢	(復原) 11.3	6.0	8.8	乳白茶色	乳白茶色	ヨコナデ、 刷毛目	ナデ	精良 石英		200324 -267
Fig.4-28	PL.2-15	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	杯	18.3	—	(現存) 8.7	淡茶褐色	淡茶褐色	ナデ	ナデ	砂粒 雲母	底部全体に化粧 土を施す	200324 -340
Fig.4-29	—	高三並道跡群 (高三並北小路)	土師器	杯	(復原) 15.4	—	(現存) 10.1	褐色	褐色	風化により不 明、ケズリか	刷毛目	細砂粒		200324 -297
Fig.5-1	—	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	甕	—	—	(現存) 1.6	灰黄→ にぶい黄緑	浅黄	ヨコナデ	ヨコナデ	細砂粒		200324 -042
Fig.5-2	—	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	甕	—	—	(現存) 2.8	橙	にぶい黄緑	風化により不 明	風化により不 明	微砂粒		200324 -043
Fig.5-3	—	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	甕	—	—	(現存) 5.4	にぶい黄緑	浅黄緑	風化により不 明	風化により不 明	砂粒		200324 -044
Fig.5-4	—	高三並道跡群 (高三並北小路)	弥生	甕	—	(復原) 6.8	(現存) 4.3	にぶい黄緑	灰黄褐色	刷毛目 押え、ナデ	押え、ナデ	精良		200324 -047
Fig.5-5	—	高三並道跡群 (高三並南東部)	弥生	高杯	—	—	(現存) 3.8	にぶい黄緑	にぶい黄緑	ヨコナデ 暗文施す	ヨコナデ	細砂粒		200324 -032
Fig.5-6	—	高三並道跡群 (高三並南東部)	弥生	甕	—	—	(現存) 2.1	にぶい黄緑	にぶい褐色	ヨコナデ	ヨコナデ	精良		200324 -029
Fig.5-7	—	高三並道跡群 (高三並南東部)	弥生	甕	—	—	(現存) 3.5	にぶい黄緑	灰黄褐色	ヨコナデ 刷毛目	ヨコナデ	砂粒		200324 -081
Fig.5-8	—	高三並道跡群 (高三並南東部)	弥生	甕	—	(復原) 8.0	(現存) 3.4	にぶい黄緑	にぶい黄緑	ヘラケズリ	ヘラケズリ	砂粒		200324 -023
Fig.5-9	PL.3-4	高三並道跡群 (高三並南東部)	弥生	甕	—	6.7	(現存) 5.7	乳白茶色	乳白茶色	刷毛目 ナデ→押え	押え→ナデ	砂粒		200324 -019
Fig.5-10	PL.3-5	高三並道跡群 (高三並南東部)	弥生	甕	—	8.3	(現存) 4.1	にぶい黄緑	褐色系	刷毛目 ナデ、ケズリ	調整により 不明	砂粒		200324 -018
Fig.5-11	PL.3-7	高三並道跡群 (高三並南東部)	弥生	高杯	—	—	(現存) 3.4	黒	灰色	ケミギキ、ヨコ ミギキ、ヨコナ デ	ナデ ヨコナデ	細砂粒	スカシを施す	200324 -035
Fig.5-12	PL.3-6	高三並道跡群 (高三並南東部)	弥生	甕	—	(復原) 7.7	(現存) 5.2	黄灰色	灰黄色	刷毛目 ナデ、押え	ヨコナデ 指押え	細砂粒	底部に外から内 への穿孔を施す	200324 -020
Fig.5-13	—	高三並道跡群 (高三並南東部)	弥生	杯	(復原) 13.4	—	(現存) 3.6	にぶい乳白茶	にぶい乳白茶	ヨコナデ	ヨコナデ	細砂粒		200324 -033
Fig.5-14	—	高三並道跡群 (高三並南東部)	弥生	高杯	—	(復原) 13.0	(現存) 5.4	にぶい黄緑	にぶい黄緑	刷毛目 ヨコナデ	ナデ 刷毛目	細砂粒		200324 -034
Fig.5-15	—	高三並道跡群 (高三並南東部)	弥生	小鉢	(復原) 9.0	(復原) 3.0	(現存) 4.3	灰黄褐色	灰黄褐色	押えナデ ナデ	指押え、ミギキ、 ナデ、押え	砂粒若干含む		200324 -028
Fig.5-16	—	高三並道跡群 (高三並南西側)	弥生	甕	—	—	(現存) 4.4	にぶい黄緑	にぶい黄緑	ヨコナデ	ヨコナデ	砂粒	底部に断面三角 突帯一基	200324 -582
Fig.5-17	PL.2-20	高三並道跡群 (高三並南西側)	弥生	甕	—	—	(現存) 9.0	にぶい黄緑	にぶい黄緑	ナデ	ナデ	砂粒		200324 -581
Fig.5-18	—	高三並道跡群 (高三並南西側)	弥生	甕	—	2.2	(現存) 3.05	明褐色	明褐色	ナデ	風化により不 明、ナデか	細砂粒 角四石		200324 -587
Fig.5-19	—	高三並道跡群 (高三並南西側)	弥生	器台	—	(復原) 10.0	(現存) 4.5	にぶい橙	にぶい褐色	刷毛目 刷毛目→ナデ	ナデ 刷毛目か	細砂粒 石英		200324 -588
Fig.5-20	—	高三並道跡群 (高三並北分)	弥生	甕	(復原) 29.0	—	(現存) 6.4	にぶい黄緑	にぶい黄緑→ にぶい黄緑	ヨコナデ 底部が変形不明	ナデ	砂粒		200324 -001
Fig.5-21	—	高三並道跡群 (高三並北分)	弥生	甕	—	(復原) 8.3	(現存) 2.2	灰黄色→ にぶい橙	灰黄色	刷毛目 ナデ	押え、ナデ	砂粒		200324 -003

図版No.	写真 図版 No.	出土地	種別	器種	法量 (cm)			色調		調整・装飾		胎土	備考	遺物登 録番号
					口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚み)	外面	内面	外面	内面			
Fig-5-22	—	高三並道跡群 (高三並生分)	弥生	甕	—	(復原) 8.4	(現存) 2.9	にぶい黄緑～ にぶい黄	にぶい黄緑	刷毛目 ナデ、押え	ナデ、押え	砂粒		200324 -004
Fig-5-23	—	高三並道跡群 (高三並生分)	弥生	甕	—	(復原) 12.6	(現存) 3.7	にぶい黄緑	にぶい黄緑	器面が荒れ 調整不明	ナデ、押え	細砂粒		200324 -006
Fig-5-24	PL-3-8	高三並道跡群 (高三並生分)	弥生	高杯	—	—	(現存) 23.2	にぶい黄緑	—	ナデ	シボリ	細砂粒 金雲母、角閃石	貼付け突帯を 施す	200324 -009
Fig-5-25	PL-2-17	高三並道跡群 (高三並生分)	弥生	甕	—	—	(現存) 6.5	にぶい黄色	にぶい黄、にぶ い黄緑灰白色	ナデ、刷毛目	ナデ	砂粒 石英		200324 -161
Fig-5-26	PL-2-18	高三並道跡群 (高三並生分)	弥生	甕	—	—	(現存) 5.7	浅黄褐色	浅黄緑～黄、 にぶい黄	ナデ	ナデ	砂粒	胴部に断面三角 突帯一条	200324 -162
Fig-5-27	PL-3-2	高三並道跡群 (高三並生分)	弥生	甕	—	7.2	(現存) 5.2	にぶい黄緑、 にぶい黄、灰色	にぶい黄、 灰白色、灰色	刷毛目	ナデ	砂粒		200324 -166
Fig-5-28	PL-3-3	高三並道跡群 (高三並生分)	弥生	甕	—	6.3	(現存) 8.4	にぶい黄緑～灰黄 色、暗灰色～赤 色	灰色	刷毛目	ナデ	多量の砂粒		200324 -164
Fig-5-29	—	高三並道跡群 (高三並生分)	弥生	甕	—	(復原) 13.0	(現存) 4.7	にぶい黄緑～ 灰黄褐色	浅黄緑～ にぶい黄褐色	ナデ	ナデ	多量の石粒		200324 -165
Fig-5-30	—	高三並道跡群 (高三並古宮)	弥生	甕	—	—	(現存) 3.5	浅黄緑～ にぶい黄	にぶい黄	ナデ	ナデ、指押え	砂粒 長石	断面三角突帯 1条	200324 -191
Fig-5-31	—	高三並道跡群 (高三並古宮)	弥生	甕	—	—	(現存) 2.2	にぶい黄緑、 にぶい黄、浅黄 色	にぶい黄緑	ナデ	ナデ	砂粒 石英	口縁内側部に 刻目文	200324 -192
Fig-5-32	PL-3-1	高三並道跡群 (高三並古宮)	弥生	甕	—	8.6	(現存) 5.4	浅黄緑～にぶ い黄、灰白～灰 色	浅黄緑～ にぶい黄緑	刷毛目 ナデ	ナデ	砂粒 石英		200324 -193
Fig-5-33	—	高三並道跡群 (高三並古宮)	中世	土鍋	—	—	(現存) 3.0	灰黄褐色	にぶい黄緑	ナデ	甕蓋により 不明	砂粒多い		200324 -197
Fig-5-34	—	高三並道跡群 (高三並古宮)	弥生	甕	(復原) 20.6	—	(現存) 6.7	にぶい黄緑、 灰、灰白色	灰白～灰黄色	ナデ、刷毛目	ナデ、指押え	多量の石粒	胴部に一条の 沈線	200324 -194
Fig-5-35	—	高三並道跡群 (高三並古宮)	弥生	甕	—	(復原) 10.5	(現存) 7.7	にぶい黄緑、 暗灰色、暗灰色	にぶい黄緑、 暗灰色	ナデ、刷毛目	ナデ、指押え	砂粒		200324 -179
Fig-5-36	—	高三並道跡群 (高三並古宮)	弥生	甕	—	(復原) 9.0	(現存) 6.5	にぶい黄、 にぶい黄緑	にぶい黄、 にぶい黄緑	ナデ	ナデ、指押え	細砂粒		200324 -177
Fig-5-37	—	高三並道跡群 (高三並古宮)	弥生	甕	—	(復原) 9.6	(現存) 4.0	灰黄褐色～ 褐色色	にぶい黄緑	ナデ ケズリ?	ナデ	細砂粒		200324 -178
Fig-5-38	PL-2-18	高三並道跡群 (高三並古宮)	弥生	甕	(復原) 77.0	—	(現存) 10.8	にぶい黄～ にぶい黄緑	にぶい黄～ にぶい黄緑	ナデ	ナデ	多量の石粒		200324 -170
Fig-5-39	—	高三並道跡群 (高三並古宮)	弥生	甕	—	—	(現存) 3.2	にぶい黄緑、 にぶい黄色	にぶい黄緑	ナデ	ナデ	多量の砂粒 石英		200324 -172
Fig-5-40	PL-2-21	高三並道跡群 (高三並古宮)	弥生	甕	—	—	(現存) 13.3	にぶい黄、にぶ い黄緑、灰色	にぶい黄、 にぶい黄緑	ナデ	ナデ	砂粒多い	口縁内側は打ち 欠く?	200324 -171
Fig-5-41	—	高三並道跡群 (高三並古宮)	弥生	甕	—	—	(現存) 14.1	にぶい黄～ にぶい黄緑	にぶい黄緑	甕蓋により 不明	ナデ	砂粒、石英、 赤色粘土	形の崩れた断面 三角の突帯2条	200324 -184
Fig-6-1	—	高三並道跡群 (高三並古宮)	弥生	甕	(復原) 25.0	—	(現存) 1.6	にぶい黄緑	にぶい黄緑	ヨコナデ	ヨコナデ	砂粒 角閃石		200324 -304
Fig-6-2	—	高三並道跡群 (高三並古宮)	弥生	甕	—	—	(現存) 4.2	にぶい茶褐色	にぶい茶褐色	ナデ	ナデ	砂粒少量		200324 -318
Fig-6-3	—	高三並道跡群 (高三並古宮)	弥生	甕	—	—	(現存) 4.6	赤茶褐色	赤茶褐色	ナデ	ナデ	砂粒		200324 -319
Fig-6-4	—	高三並道跡群 (高三並古宮)	弥生	甕	—	—	(現存) 3.8	茶褐色	茶褐色	ナデ	ナデ	砂粒		200324 -320
Fig-6-5	—	高三並道跡群 (高三並古宮)	弥生	甕	—	—	(現存) 4.6	にぶい茶褐色	にぶい茶褐色	ナデ	ナデ	砂粒		200324 -317
Fig-6-6	—	高三並道跡群 (高三並古宮)	弥生	甕	—	—	(現存) 7.0	灰白	にぶい赤褐	風化により 不明	風化により 不明	砂粒		200324 -311
Fig-6-7	—	高三並道跡群 (高三並古宮)	弥生	甕	—	—	(現存) 4.8	にぶい 赤茶褐色	にぶい 赤茶褐色	ナデ	ナデ	砂粒		200324 -316
Fig-6-8	—	高三並道跡群 (高三並古宮)	弥生	甕	—	—	(現存) 3.8	にぶい黄緑	にぶい黄緑	ナデ	ナデ	多量の砂粒		200324 -313
Fig-6-9	—	高三並道跡群 (高三並古宮)	弥生	甕	—	—	(現存) 3.9	にぶい黄緑	にぶい黄	ナデ、刷毛目	ナデ	多量の砂粒 角閃石		200324 -305
Fig-6-10	—	高三並道跡群 (高三並古宮)	弥生	甕	—	—	(現存) 2.7	にぶい黄	にぶい黄	ナデ	ナデ	多量の砂粒 角閃石		200324 -310

図版No.	写真 図版 No.	出土地	種別	器種	法量 (cm)			色調		調整・装飾		胎土	備考	遺物登 録番号
					口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚み)	外面	内面	外面	内面			
Fig-6-11	—	高三堂遺跡群 (高三堂宮ノ脇)	弥生	甕	—	—	(現存) 2.0	にぶい藍	にぶい藍	ナデ	ナデ	砂粒		200324 -312
Fig-6-12	—	高三堂遺跡群 (高三堂宮ノ脇)	弥生	甕	—	—	(現存) 4.0	明赤褐色	明赤褐色	ナデ、刷毛目	ナデ、 指押さえ	多量の砂粒 角四石		200324 -306
Fig-6-13	—	高三堂遺跡群 (高三堂宮ノ脇)	弥生	甕	—	5.7	(現存) 4.6	明茶褐色	黒茶褐色	ナデ	ナデ	多量の砂粒		200324 -322
Fig-6-14	—	高三堂遺跡群 (高三堂宮ノ脇)	弥生	甕	—	6.2	(現存) 5.1	黒茶褐色	にぶい茶褐色	ナデ	ナデ	砂粒少量	全体に化粧土を 施す	200324 -324
Fig-6-15	PL3-14	高三堂遺跡群 (高三堂宮ノ脇)	弥生	器台	(復原) 19.6	(現存) 2.5		藍	浅黄緑	ミガキ、ナデ	ナデ 工具痕か	細砂粒	外表面全体に未 を施す	200324 -315
Fig-6-16	PL3-11	高三堂遺跡群 (高三堂宮ノ脇)	弥生	甕	—	—	(現存) 5.2	にぶい茶褐色	にぶい茶褐色	ナデ	ナデ	砂粒やや多い		200324 -328
Fig-6-17	—	高三堂遺跡群 (高三堂宮ノ脇)	弥生	甕	—	—	(現存) 6.6	茶褐色	茶褐色	ナデ、刷毛目	ナデ	砂粒やや多い		200324 -327
Fig-6-18	—	高三堂遺跡群 (高三堂宮ノ脇)	弥生	甕	—	—	(現存) 2.9	浅黄緑	浅黄緑	ヨコナデ	ヨコナデ	細砂粒		200324 -325
Fig-6-19	—	高三堂遺跡群 (高三堂宮ノ脇)	弥生	甕	—	—	(現存) 4.0	灰白～浅黄緑	灰白	ヨコナデ 刷毛目	ヨコナデ	細砂粒		200324 -326
Fig-6-20	—	高三堂遺跡群 (高三堂宮ノ脇)	弥生	甕	—	—	(現存) 3.3	明茶褐色	明茶褐色	風化により不 明	風化により不明 指押さえ	砂粒少量		200324 -330
Fig-6-21	—	高三堂遺跡群 (高三堂天神山)	弥生	甕	—	5.2	(現存) 1.8	茶褐色	茶褐色	ナデ	ナデ	砂粒少量		200324 -348
Fig-6-22	—	高三堂遺跡群 (高三堂五反田)	弥生	甕	—	—	(現存) 3.1	にぶい黄緑	にぶい藍	ナデ	ナデ	砂粒若干含む		200324 -336
Fig-6-23	—	高三堂遺跡群 (高三堂新館)	弥生	甕	—	—	(現存) 3.2	明茶褐色	明茶褐色	ナデ	ナデ	砂粒少量	胴部に断面三角 突等一条か	200324 -302
Fig-6-24	—	高三堂遺跡群 (高三堂新館)	弥生	甕	—	7.1	(現存) 3.2	黒茶褐色	にぶい茶褐色	ナデ	ナデ	砂粒多い		200324 -301
Fig-6-25	—	高三堂遺跡群 (高三堂大坪)	弥生	甕	—	—	(現存) 3.6	明茶褐色	にぶい茶褐色	ナデ	ナデ	砂粒少量	胴部に断面三角 突等一条	200324 -331
Fig-6-26	—	高三堂遺跡群 (高三堂大坪)	弥生	器台	—	15.0	(現存) 7.0	藍	にぶい黄緑	ナデ、器底に不 明な筋目	ナデ	細砂粒		200324 -334
Fig-6-27	—	高三堂遺跡群 (高三堂大見谷)	弥生	甕	—	(復原) 8.0	(現存) 4.6	灰黄褐色	にぶい黄緑	刷毛目 ナデ押え	ナデ押え	細砂粒		200324 -341
Fig-6-28	—	高三堂遺跡群 (高三堂大見谷)	弥生	甕	—	(復原) 8.0	(現存) 2.7	にぶい黄緑	褐灰色	器面が荒れ 調整不明	指押さえ	細砂粒		200324 -340
Fig-6-29	—	高三堂遺跡群 (高三堂新館)	弥生	甕の 肥子	—	—	(現存) 3.2	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色	ケズリ	—	細砂粒		200324 -338
Fig-6-30	—	高三堂遺跡群 (高三堂北田)	弥生	甕	—	(復原) 7.6	(現存) 1.8	藍	灰黄褐色	刷毛目 ナデ	ナデ	砂粒		200324 -300
Fig-6-31	PL3-13	高三堂遺跡群 (高三堂八ノ口)	弥生	甕	—	—	(現存) 3.7	茶褐色	茶褐色	不明	不明	砂粒少量	口縁部に丹塗り 有り	200324 -350
Fig-6-32	—	高三堂遺跡群 (高三堂西宮西)	弥生	甕	—	—	(現存) 4.4	茶褐色	茶褐色	器面が荒れ 調整不明	器面が荒れ 調整不明	砂粒少量		200324 -352
Fig-6-33	—	高三堂遺跡群 (高三堂大見谷)	弥生	甕	—	—	(現存) 6.1	灰黄褐色	褐灰色	ナデ、刷毛目	ナデ、 ヘタ傾り	砂粒多い		200324 -355
Fig-6-34	—	高三堂遺跡群 (高三堂西宮東)	弥生	甕	(復原) 20.8	(現存) 5.2		にぶい黄緑	藍	器面が荒れ 調整不明	器面が荒れ 調整不明	細砂粒		200324 -358
Fig-6-35	PL3-10	早津崎吹上	弥生	甕	(復原) 26.8	(現存) 5.9		藍	藍	ナデ、刷毛目 ナデ押え、ケズリ	ナデ押え、ケズリ	細砂粒 石英		200324 -589
Fig-6-36	PL3-12	早津崎吹上	弥生	甕	(復原) 19.0	(現存) 9.8		明黄褐色～ 明褐色	藍～明褐色	ナデ、刷毛目	刷毛目、ナデ	砂粒 石英		200324 -590
Fig-6-37	PL3-9	早津崎吹上	弥生	甕	(復原) 15.25	(現存) 7.4		にぶい藍	にぶい藍	刷毛目→ナデ	ナデ、押え	新粒、石英、角四石、 赤土、黒土、土器		200324 -591
Fig-6-38	PL3-18	下小大塚望田	白銅	古銅	(復原) 12.0	(復原) 3.9		(輪) 白	(地) 白			精良		200324 -570
Fig-6-39	PL3-15	玉満山の内	縄文	環	14.2	8.9 3.7～ 9.0 4.2		灰白	灰白	回転ヨコナデ	回転ヨコナデ	砂粒	横断形状 (明治神 への形、へり型)	200324 -593
Fig-6-40	—	高三堂遺跡	弥生	甕	—	7.2	(現存) 4.3	藍	藍	ナデ、刷毛目	ナデ	砂粒多量 角四石		200324 -577

図版No.	写真 図版 No.	出土地	種別	器種	法量 (cm)			色調		調整・装飾		胎土	備考	遺物登 録番号
					口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚み)	外面	内面	外面	内面			
Fig.6-41	PL3-17	生津六地藏	青磁	甌	(復原) 12.0	—	(現存) 2.7	(釉) オリーブ灰	(地) 灰白			微砂粒		200324 -580
Fig.6-42	PL3-16	生津六地藏	白磁	甌	—	(復原) 6.2	(現存) 3.4	(釉) 白	(地) 白			精良		200324 -579
Fig.6-43	PL3-20	西牟田清摩寺	石器 #110	石甌	2.5	2.0	0.5	灰色	灰色				重さ 2 g	200324 -601
Fig.6-44	PL3-19	田川野田	石器 #99	石甌	2.55	1.9	0.35	黒	黒				重さ 1 g	200324 -573

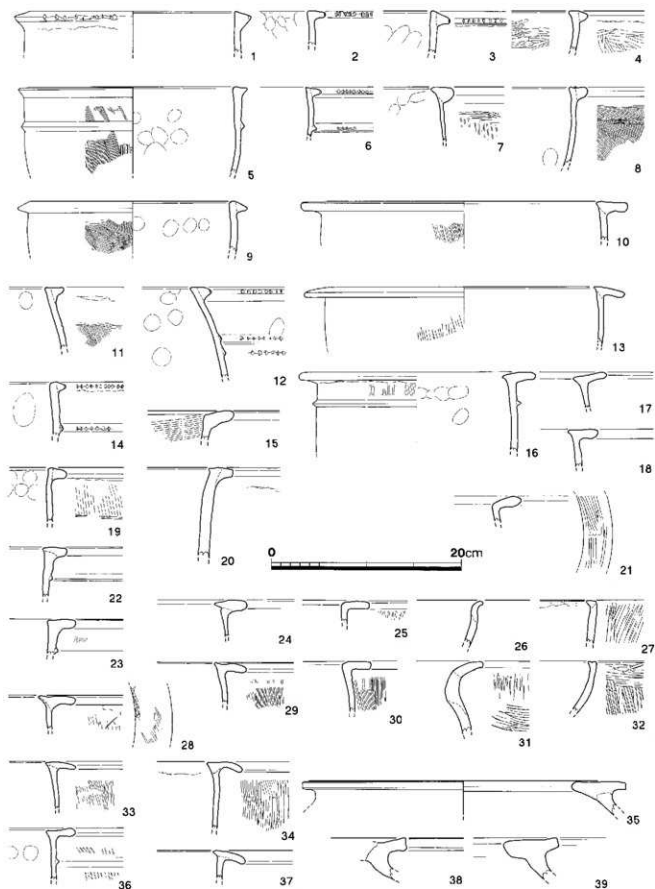


Fig. 26 採集遺物実測図 (1/4)

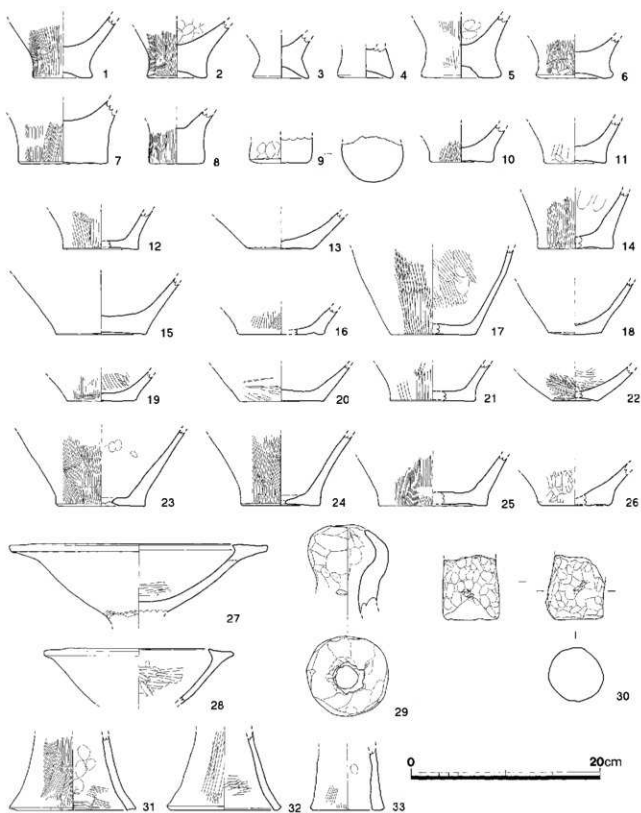


Fig. 27 採集遺物実測図 (1/4)

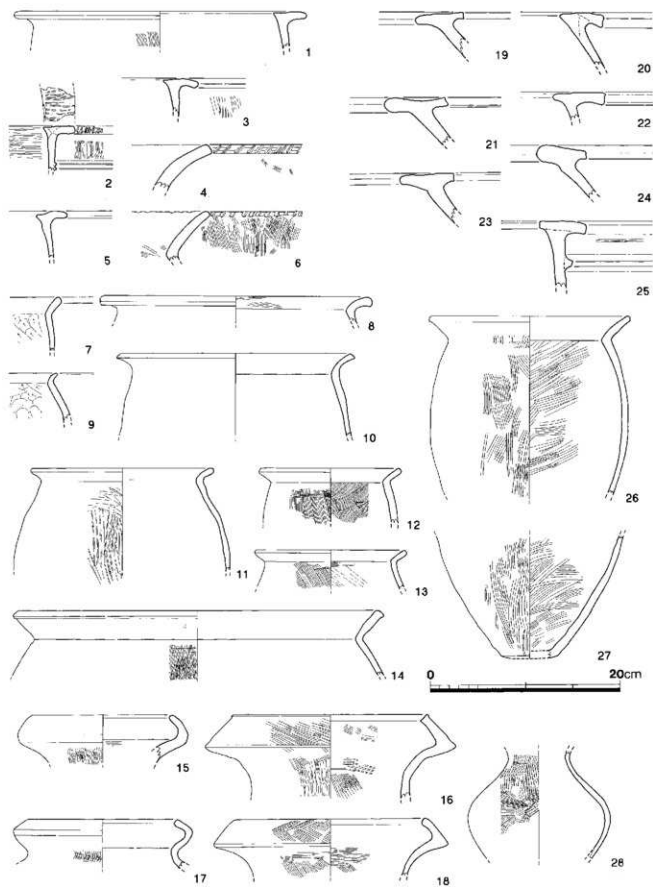


Fig. 28 採集遺物実測図 (1/4)

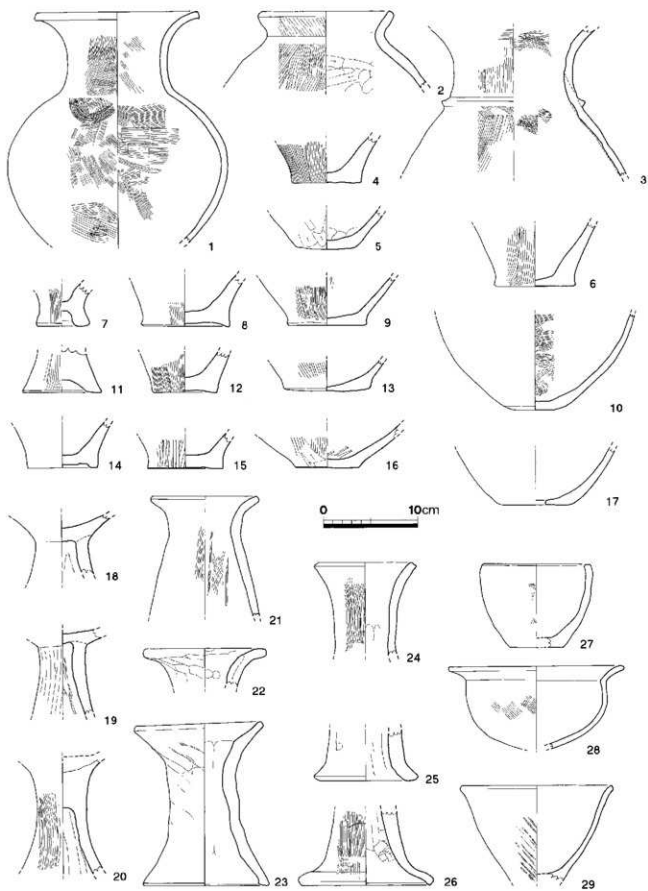


Fig. 29 採集遺物実測図 (1/4)

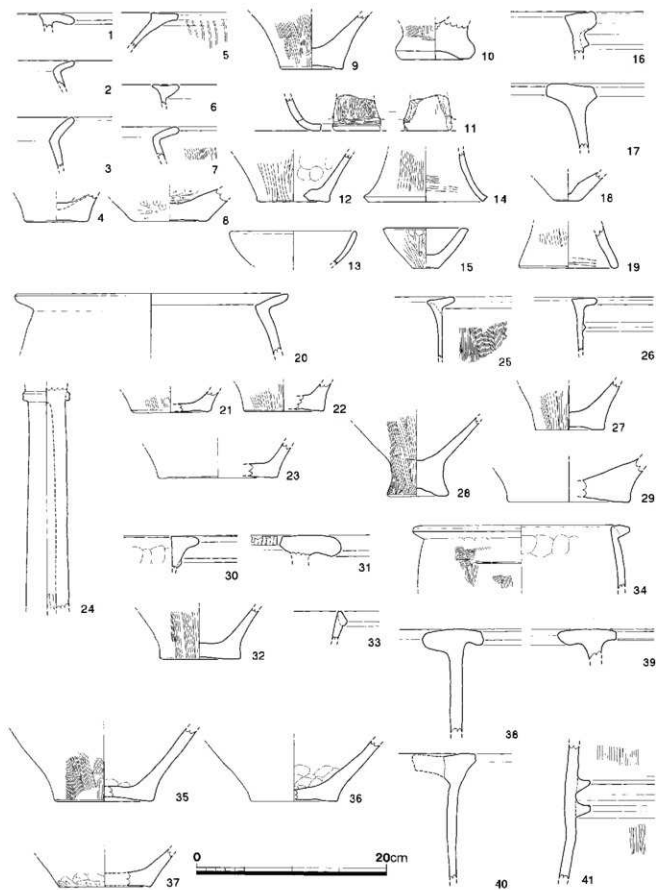


Fig.30 採集遺物実測図 (1/4)

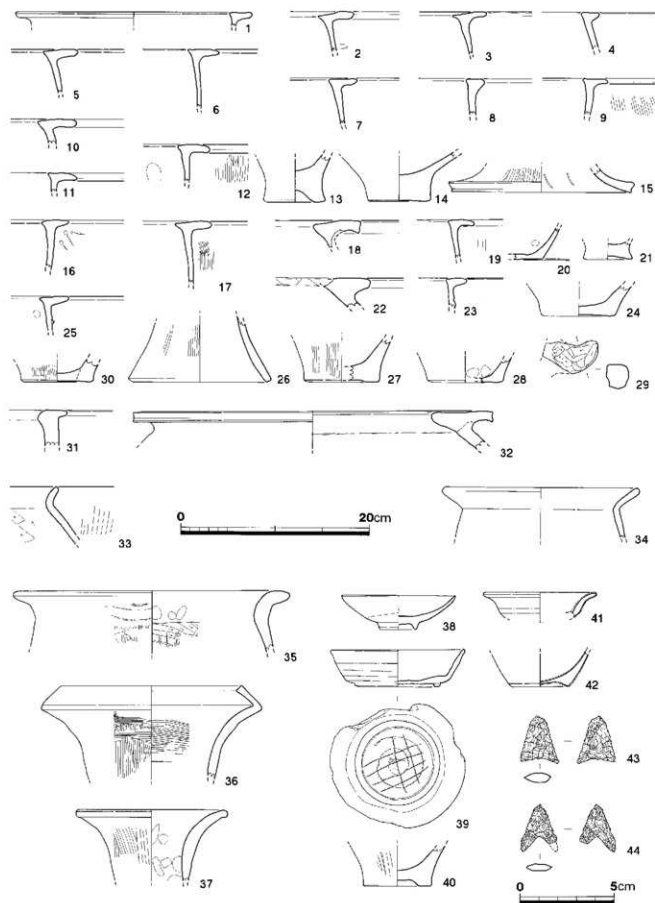
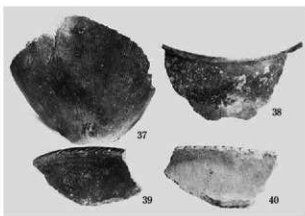
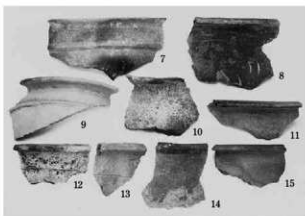
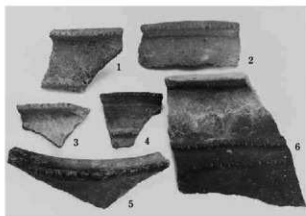
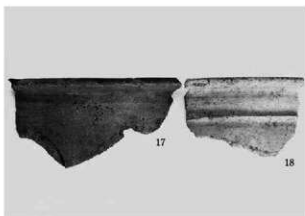
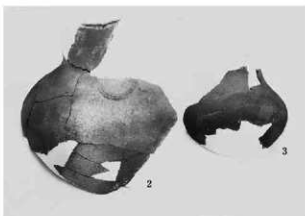
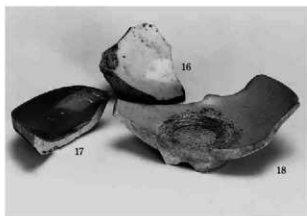
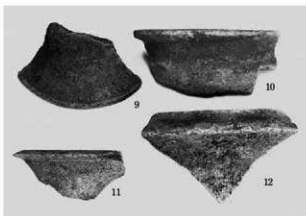
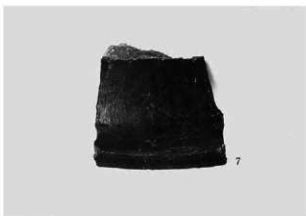


Fig 31 採集遺物実測図 (1/4・1/2)

PLATE







報 告 書 抄 録

ふりがな	くるめしみづまちいせきとうしょうさいぶんぶちょうさほうこくしょ							
書 名	久留米市三潞町遺跡等詳細分布調査報告書							
シリーズ名	久留米市文化財調査報告書							
シリーズ番号	第217集							
編集者名	塚本 映子							
編集機関	久留米市文化観光部文化財保護課							
所 在 地	〒830-8520 福岡県久留米市城南町15-3							
発行年月日	西暦 2006年3月31日							
ふりがな	ふりがな	コ ー ド		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名	所 在 地	市町村	遺跡番号					
くるめし 久留米市 みづまち 三潞町内 いせき 遺 跡	ふくおか けん 福岡県 くるめし 久留米市 みづま 三潞町	40203		33° 27' 00"	130° 27' 00"	2003年 11月1日～ 2005年 1月28日	15.83km ²	三潞町内遺跡 の詳細分布調 査及び分布地 図作成
所収遺跡名	種別	時代	主 な 遺 構		主 な 遺 物		特 記 事 項	
三潞町内 遺 跡					弥生土器 土師器 須恵器 陶磁器			

久留米市三潯町遺跡等詳細分布調査報告書

久留米市文化財調査報告書

第217集

2006年3月31日

発 行 久留米市教育委員会
福岡県久留米市城南町15-3

編 集 文化観光部 文化財保護課

印 刷 (株) エヌ・ティ・バック